



窓から夢をひろげていきます

不二サッシグループ  
**CSR報告書**  
**2022**



経営理念

基本姿勢

# 不二サッシは 窓から夢をひろげていきます

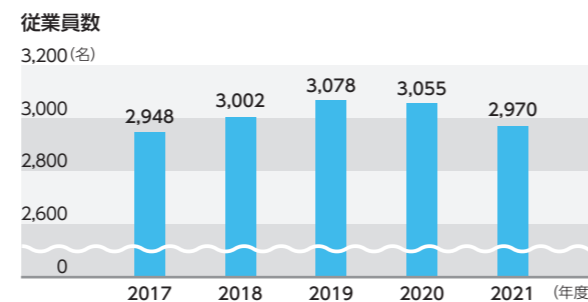
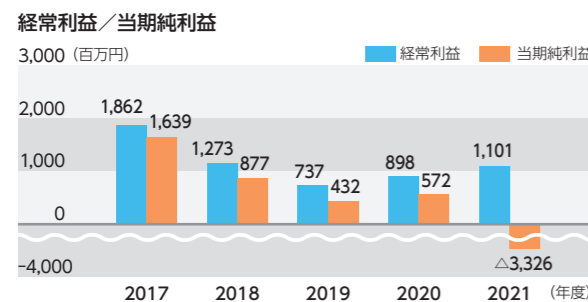
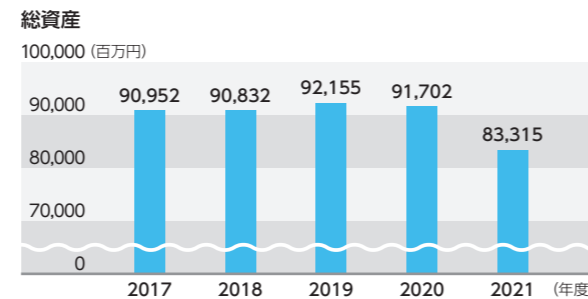
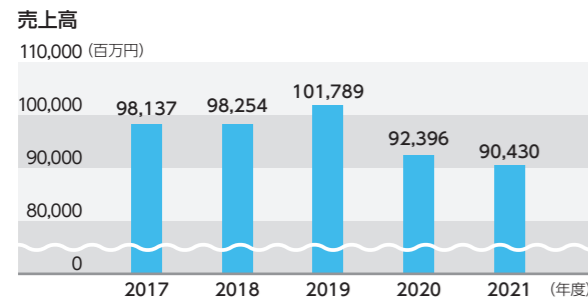
行動規範

私たちはお客様との絆を大切にします  
 私たちは心をこめた商品を世に出します  
 私たちは活力あふれる気風づくりに努めます

会社概要

商号 不二サッシ株式会社  
 (FUJI SASH CO.,LTD.)  
 本社所在地 神奈川県川崎市幸区  
 鹿島田1丁目1番2号  
 新川崎三井ビルディング  
 創業 1930(昭和5)年7月7日  
 設立 1969(昭和44)年5月1日  
 資本金 1,709,609,300円  
 従業員数 902名(連結 2,970名)  
 (2022年3月31日現在)

不二サッシグループ生産拠点



編集方針

本報告書は、「環境省ガイドライン」を参考に不二サッシグループの事業内容および環境分野を含めたCSR(社会的責任)に対する基本的な考え方やその活動をステークホルダーの皆様へより広くご理解いただくことを目的として、毎年ホームページ上に公開しています。  
 今年度の報告内容について新しい点は、今年度より開始した中期経営計画の概要と、改訂コーポレートガバナンス・コードへの取り組みを掲載したことです。  
 さらに、中期経営計画につながる内容として、「特集」では光建材事業を通じたSDGsへの貢献やアルミリサイクル材の活用、「地球環境のために」ではSBT認定取得に向けたコミットメントレター提出について掲載しました。  
 また、「価値創造のあゆみ」では、不二サッシグループのあゆみを社会課題の中に位置づける形で整理しました。

WEBマークの項目は  
 当社ホームページ上で詳細情報をご覧いただけます。

- 対象範囲  
 不二サッシ(株)および関連会社  
 特定の範囲を示す場合は本文にその旨を表記しています。
- 対象期間  
 2021年4月1日～2022年3月31日  
 ※一部対象期間以外の情報も含まれます。

目次

経営理念/会社概要	2
目次/編集方針	3
トップメッセージ	4
中期経営計画(2022～2024年度)	6
価値創造のあゆみ	8
不二サッシグループの製品・サービス	10
特集 「100年企業」を見据えた取り組み	12
サステナビリティマネジメント(マテリアリティ一覧)	16

**E 地球環境のために**

サステナブルな社会の実現に向けた取り組み状況 最新のハイライト	18
事業活動に伴う主な環境負荷	19
温室効果ガス排出量削減に関する取り組み	20
環境マネジメント	21
環境会計・マテリアルフロー	21

**S お客様とともに**

製品品質・安全への取り組み	22
2021年度活動実績	22

**社会とともに**

不二サッシグループ各社の活動	23
----------------	----

**従業員とともに**

**TOPICS**

人権の尊重	25
人材育成	26
労働安全衛生	26
ワークライフバランス	27

**G マネジメント**

コーポレート・ガバナンス	28
コミュニケーション	
ステークホルダーとのコミュニケーション	30

第三者意見	31
-------	----

## サステナブルな社会実現への貢献



不二サッシグループは「窓から夢をひろげていきます」の経営理念のもと、メーカーかつエンジニアリング企業としてお客様に満足していただく価値の創造に努めてまいりました。これからも、環境負荷を軽減するものづくりやプロセス革新を続けることで、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、2030年に迎える創業100周年、さらにその先を見据えて強靱な事業基盤を確立し、すべてのステークホルダーの皆様から必要とされ「選ばれる企業グループ」としての信頼を得るため、持続的成長を目指してまいります。

代表取締役社長 **吉田 勉**

## 「選ばれる企業グループへ」

### 2021年度CSR活動の成果と今後の課題

不二サッシグループでは社長直轄部門である経営企画室、ならびに環境安全部が中心となってCSR活動を推進しています。脱炭素社会の実現のため、(1) SBT (Science Based Targets) の認定取得を目指してコミットメントレターを提出、(2) 第二種貨物利用運送事業許可を取得し、幹線輸送(海運・鉄道)利用による物流部門におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組みました。

今後に向け、カーボンニュートラルや気候変動関連リスクへの対応、人権デューデリジェンスおよびダイバーシティ&インクルージョン、循環型社会への貢献など、不二サッシグループ全社で対応すべき課題への取り組みが必要となるため、グループ全体のリスクを統括する管理体制の構築も進めています。

事業環境の変化は極めて速く、より長期的かつ柔軟な目線で取り組まなければならないと考えています。

### 中期経営計画(2022~2024年度)におけるCSR活動について

不二サッシグループは2022年度を初年度とする中期経営計画(2022~2024年度)をスタートしました。メインメッセージは『サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」』であり、このメッセージには改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応も含んでいます。

中期経営計画ではサステナブルな社会の実現のため、アルミリサイクル材の活用や環境配慮型商品の拡充による脱炭素経営の実践と事業領域・エリアの拡大による収益確保(稼ぐ力の向上)の両立によって持続的成長を目指すという考え方を基本としています。

事業環境が激変する中、持続的成長を実現するためには、グループ全体が同じビジョンのもとに一丸となり、スピード感を持って改革に取り組まなければなりません。グループの全役職員がこのビジョンを共有し、達成に向けて自らがチャレンジし、成果を上げていくことが最も大切です。

2030年の創立100周年を見据え、不二サッシグループがこれまで培ってきた経験や技術を活かすとともにグループの“あるべき姿”を想定した長期ビジョンの達成を目指します。

今後のCSR活動において、ビジョンへの全役職員の共感が深まるよう啓発に努め、さらなるチャレンジを促すことで、その成果がサステナブルな社会実現への貢献につながっていくと考えています。

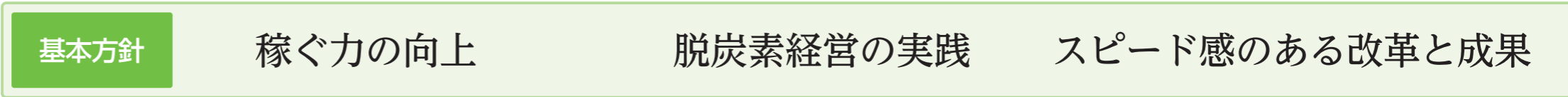
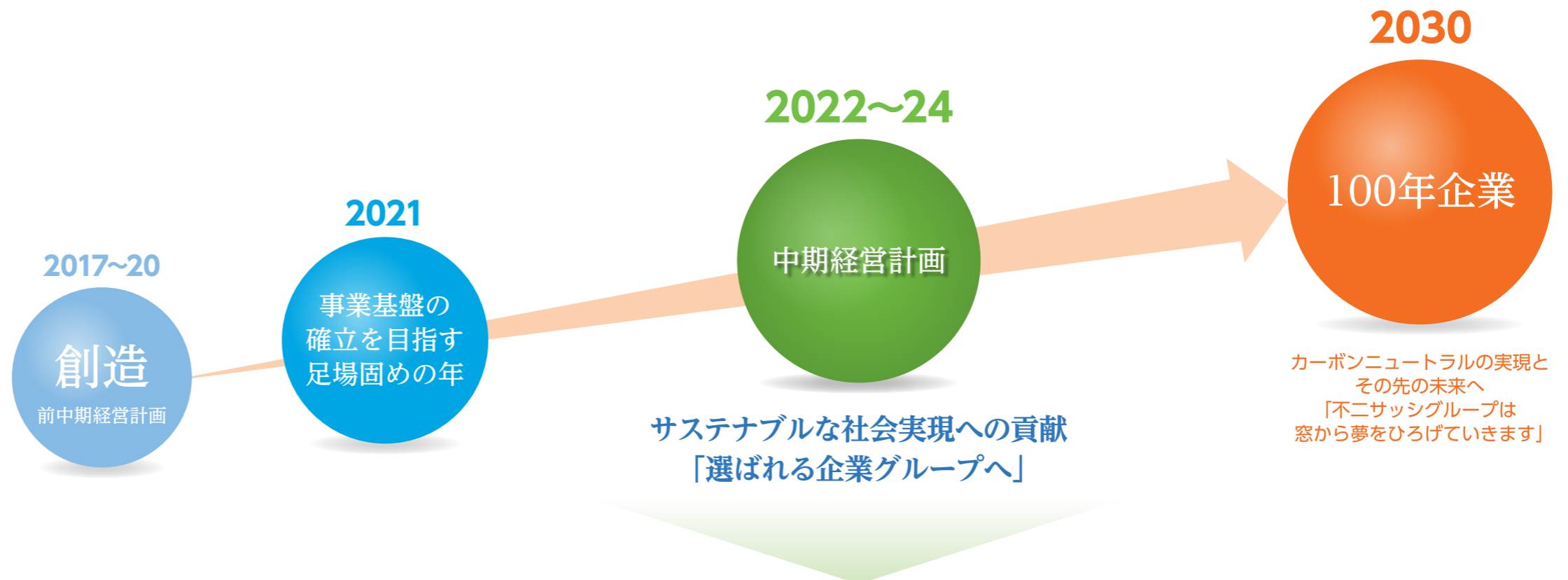
不二サッシグループは、ステークホルダーの皆様からの信頼を高めるために、CSR活動を通じたESG経営やSDGsへの貢献を経営上の重要テーマとして位置づけ、グループを挙げて取り組んでまいります。

## 中期経営計画(2022～2024年度)

不二サッシグループは2022年度を初年度とする中期経営計画(2022～2024年度)をスタートしました。

当社グループは、「窓から夢をひろげていきます」の経営理念のもと、「お客様との絆を大切にします」「心をこめた商品を世に出します」「活力あふれる気風づくりに努めます」を社員の行動規範とし、エンジニアリング企業としてお客様に最適な形での価値の提供に努めてきました。

2030年に迎える創業100周年を目指し、環境負荷を軽減するものづくりやプロセス革新を続けることで持続可能な社会の実現に貢献するとともに強靱な事業基盤を確立し、すべてのステークホルダーの皆様から「選ばれる企業グループ」として、持続的成長を実現していきます。



### 基本戦略

変革(DXの加速等)へ挑戦し、生産性向上・営業強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生産設備の自動化、ロボット化の推進</li> <li>② 間接部門の生産性向上</li> <li>③ 営業プロセスの再構築による営業強化</li> </ul>
事業領域・エリアを拡大し、新規・注力事業を強化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境配慮商品の拡充(樹脂、樹脂複合、自然換気商品等)</li> <li>② リニューアル事業の拡大</li> <li>③ アルミ加工品事業の拡大</li> <li>④ 現地法人を活動拠点に海外事業を強化</li> </ul>
ESG・SDGs 貢献への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>① SBT認定取得、TCFD提言への賛同</li> <li>② ダイバーシティの推進</li> <li>③ アルミリサイクル材を活用した資源循環の実現</li> </ul>

### 循環型ビジネスの拡大に向けて

様々なアプローチで3Rに取り組み、循環型ビジネスを目指していきます。

アルミリサイクル材の活用 (sash to sash)	環境配慮商品の開発
グリーン調達	SBT認定の取得

SDGsを経営戦略の重要事項と捉え、社会情勢や事業環境を踏まえ重要課題を設定し、それらの達成により、社会課題の解決と経営戦略の共通価値の創造を目指します

### 不二サッシグループが取り組む SDGs

3 3 すべての人に健康と福祉を	健康経営 有給休暇取得促進 働きやすい職場環境	11 住み続けられるまちづくりを	断熱省エネ関連商品の開発 都市防災・インフラBCP強化への貢献
4 質の高い教育をみんなに	キャリア開発のための取り組み 人材育成の強化、拡充	12 つくばない、つかう責任	グリーン調達に向けた部品材質へ切替 資源の有効活用およびゼロエミッション推進 製品含有の化学物質削減
5 ジェンダー平等を推進しよう	ダイバーシティ推進 働き方改革 女性活躍推進	13 気候変動に具体的な対策を	SBT認定取得 運搬車のCO <sub>2</sub> 削減 アルミリサイクル比率増
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	再生可能エネルギー創出	14 海の豊かさを守ろう	環境エンジニアリング事業による貢献 資源の有効活用およびゼロエミッション推進
8 働きがいも、経済成長も	働きがい、従業員満足度向上 人材育成 「ホワイト物流」推進運動	15 陸の豊かさも守ろう	環境エンジニアリング事業による貢献 資源の有効活用およびゼロエミッション推進
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	断熱省エネ関連商品の開発 ガバナンス・コンプライアンス強化	17 パートナーシップで目標を達成しよう	ステークホルダーとの協働

# 価値創造のあゆみ

私たちは1930年の創業以来、サッシの製造事業を通じてビルや住宅における快適な居住環境を追求してきました。特に1958年に国内で初めて製造販売を開始したアルミサッシ分野では、一貫生産のアルミサッシ・カーテンウォールのパイオニアとして国内外のビッグプロジェクトに参加し、都市景観の創造に寄与してきました。

90年以上の歴史の中で培った技術力と提案力は、今までもこれからも不二サッシの価値創造プロセスの基盤を成すものです。

そして現在は、2030年に迎える創業100年を見据えた事業基盤の確立を目指した足場固めを行うとともに、持続可能な社会の実現に貢献しステークホルダーから選ばれる企業グループを目指して更なる変革へ挑戦しています。

## ● グループおよびCSR体制・情報公開

- 2020 「瀋陽遠大鋁業工程有限公司」との業務提携
- 2019 ● 日本防水工業(株)、日本スプレー工業(株)が新たに不二サッシグループに  
● 不二サッシグループ SDGsへの賛同表明
- 2018 アジアニッカイ(株)、北海道住宅サービス(株)、高槻ダイカスト(株)新たに不二サッシグループに
- 2017 ● 不二サッシベトナム社設立  
● CSR報告書発行開始(社会環境報告書から移行)
- 2016 台湾に合併会社「不二太天股份有限公司」を設立
  
- 2010 コンプライアンスマニュアル制定
  
- 2009 文化シャッター(株)と「資本および業務提携に関する基本合意書」を締結
- 2007 九州不二サッシ(株)を承継会社とする資材統合新会社を発足  
これに伴い社名を不二ライトメタル(株)に改める
- 2006 (株)不二サッシ九州を承継会社とし「九州地域製販一体新会社」を発足
- 2004 ● 九州不二サッシ(株)を完全子会社化  
● 環境報告書公表開始(2015年社会環境報告書に改題)
- 2001 ● 全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編  
● ISO14001認証取得
- 1997 ISO9001認証取得
- 1995 神奈川不二サッシ(株)と東京不二ホームサービス(株)が合併し、  
不二サッシリニューアル(株)に商号変更
- 1994 不二サッシフィリピン社設立
- 1992 東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 1990 経営理念「窓から夢をひろげていきます」制定
- 1981 不二サッシ工業(株)、不二サッシ販売(株)、不二サッシ(株)(旧 東洋ハウジング(株))  
3社合併により、不二サッシ(株)として新発足
- 1969 ● 東洋ハウジング(株)設立(不二サッシ(株)の旧社名)  
● 九州不二サッシ(株)設立
- 1966 不二倉業(株)設立
- 1958 日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始
- 1957 米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入
- 1930 鋼製建具の製造を目的に(株)不二サッシ製作所設立(旧 不二サッシ工業(株))

## ● 事業を通じたステークホルダーの価値創造

健康・医療	人材活用	まちを支える	循環型社会	エネルギー	気候変動対策	汚染防止	
3 持続可能な消費生活	4 質の高い教育をみんなに	5 働きがい、経済成長、女性活躍	8 持続可能な消費生活	7 再生可能エネルギー	13 気候変動対策	14 水と海洋資源	
						15 陸域生態系保護	
不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出 2022							
2020	不二ライトメタル(株)「飛沫感染対策シリーズ」発売	2019	「ホワイト物流」推進運動に参画	2019	Fフロント自動ドア用プロテクトスクリーン キッズデザイン賞	2021	● アルビームインテリア販売 ● 省エネ型エコ混練機の商品化
2018	不二ライトメタル(株)マグネシウム合金製医療機器部材の製造設備導入 熊本県より医療機器製造業の認可	2017	● 女性活躍推進プロジェクト実施 ● 明日の不二を考える若手プロジェクト実施	2016	二軸破砕機の販売を開始	2018	アルミソーラー架台工業大賞
2015	不二ライトメタル(株)マグネシウム合金を使った医療機器開発を始動	2016	二軸破砕機の販売を開始	2015	千葉県市原市との緊急災害協力井戸協定締結	2016	次世代ハイグレードサッシ「FNS-II 70」発売
2010	コンプライアンスマニュアル制定	2009	防災備蓄倉庫・災害救助倉庫「Stock&Toilet」発売	2010	● ビル用環境配慮サッシ「ComfortCF」発売 ● 次世代型高断熱防音サッシ「Super70AT」発売	2015	● 千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始 ● LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発
2007	九州不二サッシ(株)を承継会社とする資材統合新会社を発足 これに伴い社名を不二ライトメタル(株)に改める	2006	グリーン調達ガイドライン作成	2007	自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)	2010	● 千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始 ● LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発
2004	● 九州不二サッシ(株)を完全子会社化 ● 環境報告書公表開始(2015年社会環境報告書に改題)	2005	(株)レヂテックスと提携して粉塵防止剤「フラインेटR」開発	2004	次世代型バリアフリーサッシ「フラットステージ」発売(2004グッドデザイン賞)	2005	● 千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始 ● LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発
2001	● 全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編 ● ISO14001認証取得	2002	「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)	2002	「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)	2007	● 千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始 ● LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発
1997	ISO9001認証取得	1999	(株)荏原製作所と提携し、ダイオキシン類低温加熱分解装置の製造・販売開始	1999	横浜メディアタワーに当社初の太陽光発電システム納入	2010	● 千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始 ● LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発
1995	神奈川不二サッシ(株)と東京不二ホームサービス(株)が合併し、 不二サッシリニューアル(株)に商号変更	1997	千葉カーテンウォール試験センター稼働	2006	グリーン調達ガイドライン作成	2015	● 千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始 ● LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発
1994	不二サッシフィリピン社設立	1995	障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立	2005	(株)レヂテックスと提携して粉塵防止剤「フラインेटR」開発	2018	アルミソーラー架台工業大賞
1992	東京証券取引所市場第二部に株式上場	1990	防災・備蓄倉庫「フジストックカー」発売	2004	次世代型バリアフリーサッシ「フラットステージ」発売(2004グッドデザイン賞)	2021	● アルビームインテリア販売 ● 省エネ型エコ混練機の商品化
1990	経営理念「窓から夢をひろげていきます」制定	1975	サッシ表面処理工場で発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発	2007	自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)	2022	不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出
1981	不二サッシ工業(株)、不二サッシ販売(株)、不二サッシ(株)(旧 東洋ハウジング(株)) 3社合併により、不二サッシ(株)として新発足	1964	日本初の超高層建築「ホテルニューオータニ」竣工 当社のカーテンウォール工法が採用される	2009	防災備蓄倉庫・災害救助倉庫「Stock&Toilet」発売	2022	不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出
1969	● 東洋ハウジング(株)設立(不二サッシ(株)の旧社名) ● 九州不二サッシ(株)設立	1958	日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始	2006	グリーン調達ガイドライン作成	2022	不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出
1966	不二倉業(株)設立	1957	米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入	2005	(株)レヂテックスと提携して粉塵防止剤「フラインेटR」開発	2022	不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出
1958	日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始	1957	米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入	2004	次世代型バリアフリーサッシ「フラットステージ」発売(2004グッドデザイン賞)	2022	不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出
1957	米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入	1957	米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入	2002	「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)	2022	不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出
1930	鋼製建具の製造を目的に(株)不二サッシ製作所設立(旧 不二サッシ工業(株))	1930	鋼製建具の製造を目的に(株)不二サッシ製作所設立(旧 不二サッシ工業(株))	2001	● 全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編 ● ISO14001認証取得	2022	不二サッシグループ SBT 認定取得に向けコミットメントレター提出

## 不二サッシグループの製品・サービス

私たち不二サッシグループは「ものづくり」という原点を大切にしながら、様々なソリューションへと導くメーカーかつエンジニアリング企業としてのアプローチで、多様な分野において、革新的なチャレンジに取り組んでいます。また、環境との調和を「経営理念」実現の課題の一つとして、すべての事業活動において、環境への負荷低減や安心安全な商品づくりに取り組んでいます。

不二サッシブランドが約束する高い品質、ゆるぎない実績、新たな価値の創出によって、お客様の信頼に応え続け、より豊かで持続可能な社会の実現に貢献したいと私たちは考えています。

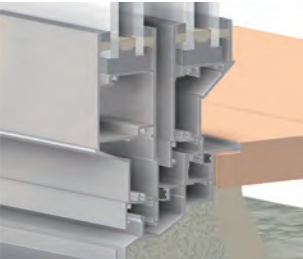
### 建材事業

#### ビル建材事業

専門メーカーとして長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使し、高い性能や品質と多様なデザインの要求に応えるビル用サッシ・カーテンウォールをご提案します。



アルミ樹脂複合サッシFNS-II100R



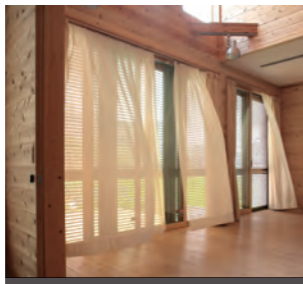
次世代型ハイグレードサッシFNS-II70

高層マンションで求められる、より高い耐風圧性能、水密性能をクリアし、さらに断熱性能、遮音性能を発揮するハイスペックな商品です。

アルミと樹脂を組み合わせることで高強度・高断熱と居住性を共存させ、低炭素社会実現に向けた集合住宅向けのZEH-M（ゼッチ・マンション）の普及に貢献する次世代のサッシです。

#### 住宅建材事業

住宅建材商品は省エネや高齢化社会に備えたバリアフリー化など、快適性を高めるための多様な機能が求められています。リフォーム市場も視野に入れたエコアマドやエコ面格子といったエコシリーズ商品の充実を図り、お客様のニーズに応えています。



ウインドウリフォームシリーズ

角度自在のルーバーがプライバシーを守りながら室内にこもった空気をしっかりと換気。「玄関ドア用ルーバー網戸」を設置した玄関から、「エコアマド」や「エコ面格子」などを設置したリビング・キッチンなどへ、住まいに風の通り道をつくりだします。



特定得意先向け高断熱サッシ

#### フロントサッシ事業

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまでお客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。



Fフロント防水タイプ

自動ドア部にポリ塩化ビニル製の止水シートを標準装備。止水シートが水圧でサッシ・ガラスに密着し、土の約10倍の止水性能を発揮します。

#### ユニットハウス・防災関連事業

多目的な展開が図れるユニットハウスや防災備蓄倉庫、高性能機器収納箱（シェルター）まで、多様な用途にお応えするパッケージ商品を多彩なラインナップで揃えています。



防災備蓄倉庫（フジストッカー）  
防災倉庫にはソーラーシステムユニットが加わり、備蓄品の長期保存だけでなく、災害時の拠点としての有効利用も可能になりました。

#### リニューアル事業

ストック化が進むマンションやオフィスビルを中心とした様々な建築物にリノベーション工事を施すことにより、快適な居住空間の提供や資産価値の向上をお手伝いします。



#### 光建材事業

独自設計のLEDモジュールを使った商品の開発を進めています。アルミ素材とLEDの融合により様々な商品の可能性を広げていきます。



アルビームカーテンウォール



アルビームインテリア

#### 海外事業

フィリピン、ベトナム、台湾など東南アジアを中心に不二サッシブランド商品の展開や現地企業とのアライアンスを積極的に推進しています。



### 型材外販事業

#### アルミ型材・アルミ加工品事業

一貫生産システムで、建材から半導体製造装置、自動車関連、家電製品、事務機、日用品の部品まで軽金属のサプライヤーとして多様な商品を提供しています。



飛沫感染対策シリーズ

アルミフレームを使用しており、軽さや耐久性などに優れた間仕切りです。テーブルなどの上に置いて使える「飛沫ガード」と床に置いてより広い範囲をカバーする「飛沫スクリーン」を用意しています。



ソーラー架台



クロススクリーン



競技用車いす

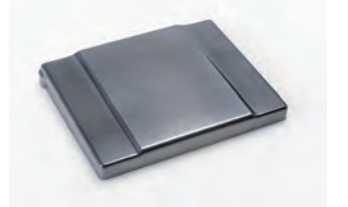
JIS C 8955の基準に沿った設計で、要求される強度を満たしつつ、軽量化・施工性を考慮した形状になっています。

用途は医療用を主としていますが、災害時等、様々な用途で使用できるマルチタイプです。

熊本出身の選手と連携して開発した「made in Kumamoto」のマシンです。

#### マグネシウム合金事業

実用金属中最も軽量のマグネシウム合金の押出加工技術の研究と開発、製品化に取り組んでいます。高強度・高耐熱マグネシウム合金はあらゆる分野での事業展開が期待されており、不二ライトメタルでは、汎用マグネシウム合金、純マグネシウム、KUMADAI耐熱マグネシウム合金、難燃性マグネシウム合金、生体吸収性マグネシウム合金等、多様な合金を取り扱っています。



### 環境事業

#### 都市ごみ焼却飛灰処理事業

長年の経験で培ったノウハウに基づいて、飛灰処理システムの設計・施工に加え、設備機器のコーディネート等エンジニアリング全般をお引き受けいたします。また、飛灰処理過程でのダイオキシン類の分解や飛灰固化については、独自の技術に基づく装置の開発を行い、有害重金属の溶出を防止する各種薬剤とともに製造・販売を行っています。



ダイオキシン類低温加熱分解装置



混練成形機

#### リサイクル・粗大ごみ処理事業

粗大ごみや不燃ごみ、ペットボトル、廃プラスチック等それぞれのごみに合わせた処理システムの設計・施工およびエンジニアリング全般をお引き受けいたします。



二軸破碎機

#### 薬剤事業

有害物を含んだ都市ごみ飛灰や焼却灰・溶融飛灰中の重金属処理用として液体系・粉体系の各種処理剤、および排ガス中のHCl除去剤に加え、下水汚泥用・軟弱地盤用固化材の製造販売や、バイオマスを有効利用した土壌用粉塵防止剤を販売しています。



粉塵防止剤 フライネットR(植物原料)

### 物流事業

#### トラック・トレーラー輸送

迅速・確実・丁寧をモットーに、大型車両や特殊車両による長距離輸送をはじめ、中・小型車両によるDoor to Door輸送など、あらゆる輸送に対応しています。



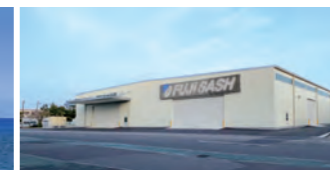
#### 国際物流(輸出・輸入業務)

海外から国内指定納品先までのDoor to Doorのサービスや、日本各地の主要港・空港における輸出入貨物の取り扱い業務を行っています。



#### 倉庫・保管・流通加工

全国の拠点や倉庫を活用し、一時保管、製品管理、検品、組立、ラベリング、仕分け、梱包など、熟練スタッフによる高品質のサービスを提供しています。



#### オフィス移転・引越

店舗やオフィスの移転、転動による引越し、家財の一時保管も承っています。

#### 大型設備・重量物の運搬・設置・解体

国内外でのプラントの設備および装置の移設に伴う解体・輸送・設置サービスを行っています。

# 「100年企業」を見据えた取り組み

不二サッシグループは2020年に創業90周年を迎えました。そして2030年の創業100周年を見据え、企業価値を高め、存在感を発揮し、選ばれる企業グループを目指して様々な取り組みを行っています。

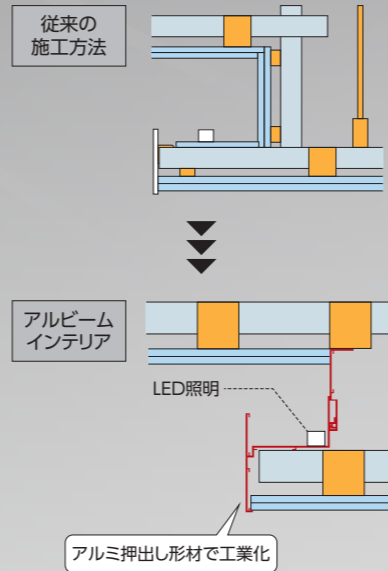
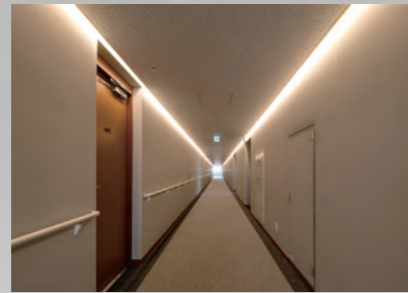
## SDGsへの貢献

### 光建材事業を通じたSDGsへの取り組み

不二サッシ光建材事業はLEDの活用により、より少ないエネルギーで様々な光環境を実現しています。なかでもアルビームインテリア間接照明建材はリサイクル性の高いアルミニウムを主要素材に現場造作が主であった従来工法から工業化を実現しました。現場での省力化、人手不足解消による生産性向上に貢献しています。

他にも、アルビーム通信を発行し、ステークホルダーとの協働に取り組んでいます。

光建材事業はこれからも製品を通じて社会に貢献していきます。



#### アルビームエクステリア



注意喚起

フロントタイプは、視覚的に目を引くことにより注意喚起につながり、夜間の安全なまちづくりに貢献します



光害対策

トランザムタイプは、外に漏れる光が少なく星空へ影響を与えないため、光害による生態系への影響を減らします



#### アルビームプラス



LED手摺

従来より電力消費量が少ないため省エネにつながる他、全ての人の安全をサポートします



#### アルビームインテリア



光壁

調光・調色機能を備えたLED照明により健康な生活リズムをサポートし、枠見込み70mmという取まりの実現により省資源につながります



#### 廃材の大幅削減

13 気候変動に具体的な対策を アルミ形材に置き換えることで、廃材を大幅に削減します

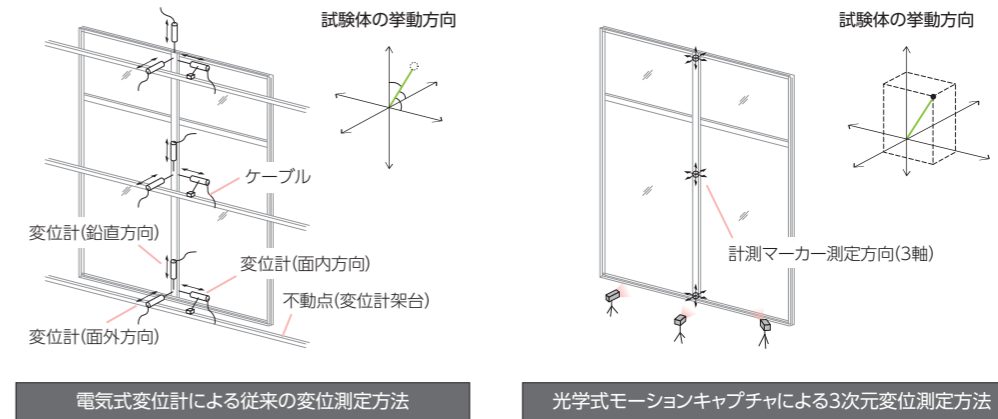
#### アルビーム通信の発行

17 気候変動に具体的な対策を ステークホルダーとの協働に取り組んでいます

## 不二サッシカーテンウォール試験センター ISO17025認定範囲拡大

### 業界初、モーションキャプチャを用いた耐風圧性試験・耐震性試験方法を開発

#### 電気式変位計測定方法およびモーションキャプチャ測定方法



不二サッシグループは長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使し様々な市場ニーズにお応えできるビル建材をご提案しています。その技術力の根幹に基礎実験や性能試験等が行える充実した試験研究施設が千葉事業所内にあります。この度、試験研究施設の一つであるカーテンウォール試験センター（以下、CWTC）で業界初となる「光学式モーションキャプチャシステム」を用いた耐風圧性および耐震性の変位測定方法を独自に開発し、ISO/IEC 17025\*の認定を取得しました。

光学式モーションキャプチャは複数のカメラでキャプチャ空間を構築し反射マーカの位置をトラッキングする方式で、3次元で人の動きをリアルに可視化するツールとして映画やアニメといったものからスポーツ科学の分野などに使われています。CWTCではこの最新テクノロジーを導入し、カーテンウォールの耐風圧性や耐震性試験時の試験体の変形や動きを高い精度で数値化することにより、詳細に挙動を解析・分析することが可能になりました。

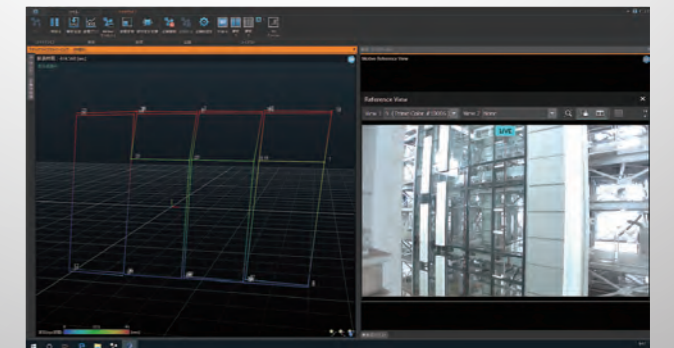
従来使用している接触式の電気式変位計は一方の動きのみを測定しますが、モーションキャプチャでは反射マーカの動きをトラッキングし3次元で測定を行うため、今まで測定することが困難であった「動きの早いもの」「複雑な形状」「柔らかい性状のもの」を容易に測定でき、リアルタイムモニターに映像化することで視覚的に分析を行なうことも可能です。更に、軽量で小さい反射マーカは取り付けの手間が少なく、試験準備の省力化と試験期間の短縮を図ります。

当試験センターでは今後も豊富な経験と知識を持ったスタッフと最新テクノロジーを取り入れながら、ご利用いただく方々の様々なご要望にお応えしていきます。

\* ISO/IEC 17025 試験所・校正機関が正確な測定/校正結果を生み出す能力があることを、権威ある第三者認定機関が認定する規格。



スポーツ科学 人の動きの可視化



耐震性試験 CW試験体挙動の可視化

再生素材(アルミリサイクル材)の積極的利用

循環型ビジネスを目指して

限りある資源の有効活用

循環型社会の実現に向け、製品の開発、生産、使用、廃棄の各段階で「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の重要性はさらに高まってきています。

不二サッシグループでは、限りある資源の有効活用に向けて様々な取り組みを行っており、その中でも、再生素材(アルミリサイクル材)を積極的に利用することは、新たなアルミニウム地金を製造する場合に比べて、必要なエネルギーは、わずか3%であり、CO<sub>2</sub>排出量削減に大きく貢献しています。

再生素材(アルミリサイクル材)の積極的利用

今までも工場内や系列工場から発生する再生素材(アルミリサイクル材)を回収、再利用することで、環境負荷低減に取り組んでいましたが、工場内や系列工場からの回収にとどまらず、リサイクル材のさらなる活用を推進することで、リサイクル材比率を高めながら、今まで以上にCO<sub>2</sub>削減に貢献していきます。

また、リサイクル材を活用する際には、6000系以外の異種材料が混入しない様に、細心の注意を払い、品質の確保に努めています。

リサイクル材投入により年間約2百ktのCO<sub>2</sub>排出削減に貢献しています  
(一般社団法人日本アルミニウム協会公表のCO<sub>2</sub>原単位より算出)



アルミリサイクル材



溶解炉投入

循環型ビジネスを目指して

近年、国内においては循環型ビジネスへの関心の高まりや、住宅着工戸数減少や樹脂・樹脂複合サッシの需要拡大等により、再生素材(アルミリサイクル材)の回収はより一層難しくなっていますが、海外を含めた回収ルートの検討やリサイクル性が容易な(解体・分離)技術開発や海外からの再生地金の調達方法等、中期経営計画のメインメッセージである『サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」』の実現のためにも、様々なアプローチで、循環型ビジネスを目指していきます。

油膜検知器の設置

工場排水監視用測定機器導入

不二ライトメタル(株)東資材生産部(千葉縣市原市)では、工場排水を公共用水域に放流する前に、各種測定機器により二者協定(市原市との協定)値内であることを確認して放流しています。以前はCOD・pH・窒素・リン・総排水量の監視、測定をしており、油分に関しては1回/月の外部分析を行っていました。但し、油分流出のリスクがある鋳造排水、コンプレッサのドレン水は油分の常時測定を実施しています。

この度、より安定した排水管理を実現するため、新たに最終放流場に油膜検知器<sup>\*</sup>の導入を行い、常時測定を開始し、監視強化、リスクの低減を図りました。現在、油膜検知器により油分が確認された場合、アラート情報が自動で発信される仕組みと状況確認を行う体制を構築中です。不二ライトメタル(株)本社(熊本県玉名郡)では既に油膜検知器は設置されており、これで両拠点同じ監視体制となりました。

今後も環境保全に努め、環境リスクの低減、監視の強化を行い、企業の社会的責任を全うしていきます。



油膜検知器

\*油膜検知器の原理

水面に油膜があると可視光線の油に対する反射率が水よりも大きいため、油膜は光って見えます。従って一定の強さの光を水面に当てて反射率の強さを測定すると油膜の有無が判別できます。この原理を利用して、可視光線における水と油の反射率の違いをレーザー光を用いて(非接触測定)水面上の油膜を自動的に検知し、油分の流出を早期発見する機器が油膜検知器です。

優れた室温成形性と強度、高い熱伝導率を有する「ZA系新マグネシウム合金圧延材」を開発

マグネシウム合金展伸材の用途拡大に期待

不二ライトメタル(株)は、日本金属(株)と国立研究開発法人産業技術総合研究所との共同研究に参画し、この度、優れた室温成形性と強度、高い熱伝導率を有する「ZA系新マグネシウム合金圧延材」を開発いたしました。

これまで、マグネシウム合金圧延材の室温成形性はアルミ合金と比較して低く、プレス成形に際しては、加工する圧延材と金型を200~300℃に加熱する必要がありました。開発した「ZA系新マグネシウム合金圧延材」は、Mg-Zn系合金に特定元素を微量に添加して結晶の配向を制御するとともに、実用的な強度を付与した合金です。ZA系新合金圧延材は、従来の一般的なマグネシウム合金と比較して全く異なる結晶配向を示すため、アルミ合金並みの室温張出し成形性を発揮します。また、ZA系新合金圧延材は、アルミダイカスト材を超える熱伝導率を示します。そのため、大量の熱を発生する次世代高速通信(5G)機器やこれらの搭載が進むモバイルIT機器、さらには、電動化や自動運転化によって搭載量の増加が見込まれ、熱対策が必要な車載電子機器への使用に最適な材料として大きな期待が寄せられています。

カーボンニュートラルが叫ばれる昨今、輸送機器などの軽量化の要求が高まりを見せる中、最軽量金属材料のマグネシウム合金は高強度・高剛性およびリサイクル性の高い材料として注目を浴びており、3機関による共同研究開発を行いました。大きな特徴は以下の4つです。

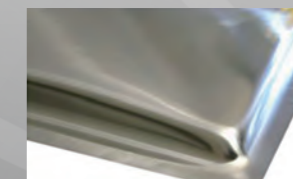
- ① 優れた室温成形性と強度、高い熱伝導率を有しています。
- ② Mg-Zn系合金に特定元素を微量に添加して結晶の配向を制御するとともに、実用的な強度を付与した合金です。
- ③ アルミ合金並みの室温張出し成形性を発揮します。
- ④ アルミダイカスト材を超える熱伝導率を示します。

加えて、ZA系新合金圧延材は一般的な展伸用マグネシウム合金であるAZ31Bマグネシウム合金よりも優れた制振性を示すことも確認されました。AZ31B箔材は、アルミやチタンより優れた制振性を持ち、Hi-Fiオーディオスピーカーやイヤホン、ヘッドホンに数多く採用されています。

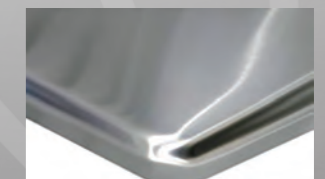
ZA系新合金圧延材は量産サイズの coils で試作を完了しており、現在は量産体制の確立を目指した活動を行っています。



室温エリクセン値8.6mm



室温プレスの試作結果





# サステナビリティマネジメント（マテリアリティー一覧）

不二サッシグループは経営理念「窓から夢をひろげていきます」の考えのもとに、100年企業に向けてすべてのステークホルダーの皆様から「選ばれる企業グループ」として存在感を発揮するために、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

## SDGsへの貢献

近年、持続可能な社会の実現のために政府・企業・関係者のすべてが自主的に取り組む国際目標SDGsの広がりによって、環境と社会を重視する経営への動きが加速しています。このSDGsを経営戦略の重要事項と捉えて社会情勢や事業環境を踏まえ、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)の観点で、不二サッシグループのマテリアリティー(重要課題)を特定しています。マテリアリティーの優先順位と具体的目標の設定を進め、それらの達成により、社会課題解決と経営戦略の共通価値の創造を目指したCSRを事業活動を通じて推進していきます。

マテリアリティー		活動項目および目標	2021年度実績	対応するSDGs	掲載ページ	
E 環境	脱炭素に向けた取り組み (気候変動への対応)	消費エネルギーおよびサプライチェーンCO <sub>2</sub> 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>断熱・省エネ関連商品開発(CO<sub>2</sub>削減商品の開発を推進する)</li> <li>生産量(押出+電解)当たりの電力消費量およびCO<sub>2</sub>排出量原単位を前年度比1.0%改善する(環境マネジメントシステム導入4サイト)</li> <li>SBT(Science Based Targets)の設定および認定取得</li> <li>再生素材(アルミリサイクル材)の積極的利用</li> <li>各職場での節電の励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>断熱商品 FP-AT70 / FNS-II70CF / RE-III改装サッシ 内倒し型換気框 / FNS-II100R / FNS-II100CF / フェイシングフロント 防火設備 / インナー防火スクリーン / FNS-II70D</li> <li>省エネ商品 アルビームカーテンウォールトランザムタイプ / アルビーム インテリア 発売</li> <li>電力消費量原単位：前年度比4.3%削減(14サイト 2.4%増加)</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量原単位：前年度比1.3%削減(14サイト 13.6%増加)</li> <li>※ 電力使用量：前年度比3.3%増加(14サイト 6.6%削減)</li> <li>グループ全体のScope1,2,3算定中(EMS導入4サイト+国内生産拠点10サイトのScope1,2から拡大)</li> <li>SBTiへコミットメントレター提出 ●アルミリサイクル材活用によるCO<sub>2</sub>排出量削減効果：約2百t-CO<sub>2</sub></li> </ul>		9,10,12, 19
		再生可能エネルギーの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>メガソーラーシステムの運用による安定的な再生可能エネルギーの創出(通期発電計画の達成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3基のメガソーラーシステムを運用(千葉事業所第1発電所、第2発電所、関西不二サッシ発電所) CO<sub>2</sub>排出削減量換算：1,466t(3基合計発電量：3,992MWh)</li> </ul>		9,19
	循環型社会の形成	環境エンジニアリング事業による貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛灰処理プラント、リサイクル・粗大ごみ処理プラントの設計・製造・販売</li> <li>廃棄物の重金属固定剤、「環境型」土壌粉塵防止剤の製造販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>納入機器のメンテナンス推進</li> <li>キレート剤(重金属の溶出防止剤)の販売 ●フライネットR(植物原料・生分解性の粉塵防止剤)の販売</li> </ul>		8,9,11
		資源の有効活用およびゼロエミッションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量の削減 ●廃棄物のリサイクル率97.0%以上</li> <li>新設備・技術導入による省資源活動</li> <li>地下水膜ろ過システムの導入による上水使用量の低減および地域貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量：14サイト 9,154t(4サイト 前年度比18.6%増加)</li> <li>リサイクル率：14サイト 96.3%(4サイト 97.1%)</li> <li>図面および仕様チェックによる、過剰設計の防止や運送効率への配慮</li> <li>事業継続計画(BCP)の一環として地下水膜ろ過システムを運用</li> </ul>		19,21
	サプライチェーン マネジメント	グリーン調達への推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>PRTR法等に対応するSDSを確保 ●部品、部材の安全性の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発商品に使用する材料のSDSを確認し、指定化学物質の使用を回避</li> </ul>		19
		物流におけるサステナビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン調達に向けた部品・材質への切替え</li> <li>サプライチェーンの環境活動向上への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーンの環境活動調査 ●樹脂部品の材質刻印の推進</li> <li>各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進</li> <li>全社テーマとして「物流改革プロジェクト」を推進</li> <li>「ホワイト物流」推進運動</li> <li>自主行動宣言：運転者の労働環境改善の推進や、働き方改革に取り組む物流事業者の活用</li> </ul>		20
		製品含有の化学物質削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ホワイト物流」推進運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主行動宣言：運転者の労働環境改善の推進や、働き方改革に取り組む物流事業者の活用</li> </ul>		9
S 社会	人権の尊重および従業員満足度の向上	人権デューデリジェンスおよびダイバーシティ&インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメント対策 ●多様な働き方の支援 ●育児支援制度の活用推進</li> <li>女性従業員の採用・育成・定着 ●グローバル人材の活躍推進</li> <li>障がい者就労支援活動の推進 ●定年後再雇用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメントの防止</li> <li>育児休業利用者：7名(前年度比40%増) / 短時間勤務利用者：12名(前年度比8%減)</li> <li>社内インターンシップによる能力開発・キャリア形成</li> <li>女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の実施 ●フィリピン・ベトナムなど国際人材の登用</li> <li>障害者雇用率：2.42%(前年度比0.05%減) ●定年後再雇用者数の推移：17名(前年度比55%増)</li> </ul>		9, 24-27
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア開発のための取り組み ●人材育成の強化・拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信教育による自己啓発促進 ●公的資格取得支援</li> </ul>		26
	従業員の健康促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の健康のための取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前立腺検査受診率：96% / 乳がん検診受診率：47% / 子宮がん検診受診率：38%(前年度比2%増) / 人間ドック補助利用者：本人32名、家族4名</li> <li>新型コロナ対応：自社製の飛沫ガードの活用 / 密を避けるための座席配置変更 / 時差通勤の推進 / テレワーク(およびそれを利用した出勤シフト制)の推進 / 職域接種</li> </ul>		26,27	
	公正な事業慣行	サプライヤーの労働環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ホワイト物流」推進運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ホワイト物流」推進運動</li> <li>自主行動宣言：運転者の労働環境改善の推進や、働き方改革に取り組む物流事業者の活用</li> </ul>		9
	お客様サポート	製品品質・安全への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品安全行動指針に基づくCS活動推進</li> <li>製品事故・品質異常の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPIに消費者への注意喚起を掲載</li> <li>(台風や暴風雨時の備えについて・新型コロナウイルス感染症対策におけるサッシ消毒に関するお願い 等)</li> <li>動画を用いた取扱説明書</li> </ul>		22
	コミュニティ参画 および発展	持続可能な暮らしとまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニューアブル事業の拡大 ●都市防災・インフラBCP強化への貢献</li> <li>健康・福祉の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CW試験センターにおける産官学との共同研究や社外からの自然環境模擬試験等の受け入れ</li> <li>CW試験センター ISO17025認定範囲拡大(業界初、CWの耐風圧性・耐震性(モーショキャプチャ法)認定取得)</li> <li>新型コロナ対応：省エネや換気機能に優れたウィンドウリフォームシリーズの拡販 / 飛沫ガードを社会福祉法人や取引先へ寄贈 / 抗菌・抗ウイルス塗料「シルバプレート AM」販売開始</li> <li>こどもみらい住宅支援事業の対象製品を設定</li> </ul>		8,9,11, 13
社会貢献活動・文化活動などの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所周辺地域との連携による社会貢献活動 ●環境貢献活動への支援・参加</li> <li>各種学校との連携による学生のスキルアップ</li> <li>音楽・スポーツ・芸術などの活動の支援 ●被災地等の支援活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国事業所における清掃・防災・献血活動など</li> <li>千葉県による絶滅危惧種ヒメコマツの回復計画に系統保存サポーターとして協力(苗の育成・管理)</li> </ul>		23	
G ガバナンス	企業統治	コーポレート・ガバナンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会の実効性評価 ●コンプライアンスの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会の実効性評価の実施 ●改訂コーポレートガバナンス・コードへの取り組み</li> <li>ガバナンス強化施策(役員報酬の決定方針・社外役員との意見交換会 等)</li> </ul>		28,29
	コンプライアンス	法規制や社会規範の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス教育の充実</li> <li>水質、大気、土壌、騒音、有害物質等の法規制・条例、その他規制の遵守状況の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育を含めた、法遵守のためのコンプライアンス教育の実施(理解度テスト実施・教育動画の公開 等)</li> <li>関係会社への法遵守環境監査実施 ●2021年度環境法令違反件数：0件</li> </ul>		21,29
	コミュニケーション	ステークホルダーとの協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステークホルダーとの対話の推進</li> <li>ステークホルダーとのコミュニケーション機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルビーム通信の発行</li> </ul>		12
	成長戦略・事業継続計画(BCP)	技術力・危機管理能力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術力・施工力の強化 ●製品の安定供給 ●マグネシウム事業の推進</li> <li>危機管理・対応能力の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子タグを用いた建設部材の一元管理の実証(他社協働) ●電子情報セキュリティ教育</li> <li>日本金属(株)にて「ZA系新マグネシウム合金圧延材」開発(日本金属(株)、産業技術総合研究所との共同開発成果)</li> </ul>		9,11,15
	グループの成長・発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外事業の再構築 ●国内外企業の株式取得、業務提携</li> <li>製品・サービスの受賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルビーム インテリア 日本アルミニウム協会賞「開発奨励賞」 ●「日本産業広告賞」3部門入賞</li> </ul>		8-10,30	

## サステナブルな社会の実現に向けた取り組み状況 最新のハイライト

### SBT認定取得に向けコミットメントレター提出

当社はパリ協定が定める目標に科学的に整合する温室効果ガスの削減目標SBTの認定機関SBTiに対しコミットメントレターを提出し、認定取得を目指すことを表明しました。当社は2022年度からの中期経営計画のメインメッセージとして『サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」』を掲げ、環境負荷を軽減するものづくりやプロセス革新を続けることで持続可能な社会の実現への貢献を目指しています。具体的には、事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量を削減してカーボンニュートラルの実現に寄与すべく、省エネ・省資源活動、照明LED化、アルミリサイクル材の活用、グリーン調達などを実施しています。今後は、パリ協定の1.5℃目標を達成するための目標の設定と、その実現に向けて取り組んでいきます。

### 不二サッシグループ環境方針の改訂

気候変動対策などの社会情勢および中期経営計画策定を踏まえ、環境方針を改訂しました。この環境方針は、不二サッシグループ全体で持続可能(サステナブル)な社会の実現に取り組むことの表明であり、そのための環境マネジメントの方向性を示すものです。中期経営計画のメインメッセージである『サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」』のもと、設計、生産、施工等全てのプロセスにおいて環境負荷軽減に主体的に取り組んでいます。また、更なる環境配慮への取り組みとしてSBT認定取得やTCFD提言への賛同の活動を通じ、積極的に脱炭素経営を推進し社会的要請に応え、企業価値向上に努めていきます。

**基本方針**  
不二サッシグループは環境との調和を“経営理念”実現の課題の一つとして、すべての事業活動において、一人ひとりが環境の持続可能性を重視して行動し、継続的かつ積極的に「循環型企業」を目指す。

**行動指針**  
不二サッシグループは、事業活動、製品及びサービスにおける全事業領域の活動として、以下の行動指針に従い環境保護を通してサステナブルな社会の実現に取り組む。

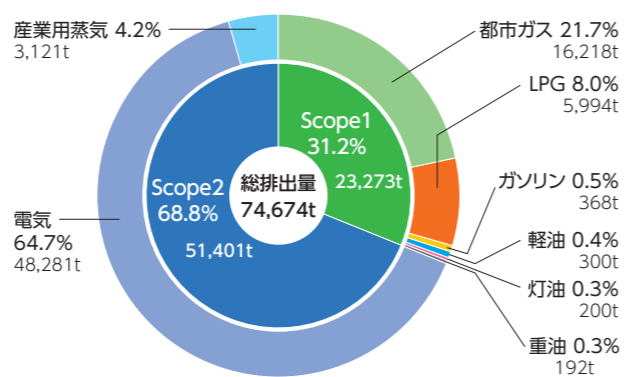
1. 事業活動を通じて環境マネジメントシステムの継続的改善と環境負荷低減を図り、気候変動等への対応を通してSDGsへの貢献を目指す
2. 法規制及び同意したその他の要求事項を順守する
3. 省エネルギー・省資源及びグリーンエネルギー商品を開発する
4. 購入、製造、物流、使用、廃棄等の事業活動に関わる全ての段階で、省エネルギー・省資源及び3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、循環型ビジネスを拡大する
5. 化学物質や排出物・廃棄物による環境汚染を防止する
6. 環境教育と啓蒙活動を実施し、従業員の意識向上に努める

### CO<sub>2</sub>排出量の削減

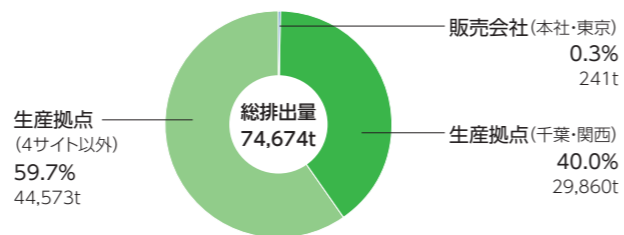
当社は従来より脱炭素社会構築に向けた取り組みとその情報開示の強化を重要課題の一つと位置付け、自社活動由来 (Scope1+2) のCO<sub>2</sub>排出量を報告してきました(対象14サイト：EMS導入4サイト(本社、東京、千葉、関西)および国内生産拠点10サイト)。

2021年度の国内14サイトにおけるScope1+2のCO<sub>2</sub>排出量の総計は74,674t/年となりました。内訳で多い排出源は電力 (Scope2 64.7%)、都市ガス (Scope1 21.7%) であり、サイト別に見ると99%以上が生産拠点由来でした。現在、SBT認定取得のためにもグループ全体かつScope3まで算定範囲を拡大している途中ですが、大半が生産拠点由来という傾向は変わらない見込みです。排出量削減対策として生産時の使用エネルギーの見直しは勿論のこと、アルミリサイクル材の活用が重要と考えており、新しい中期経営計画において戦略の一つにも位置付けています。

#### Scope1+2 エネルギー源別CO<sub>2</sub>排出量(2021年度)



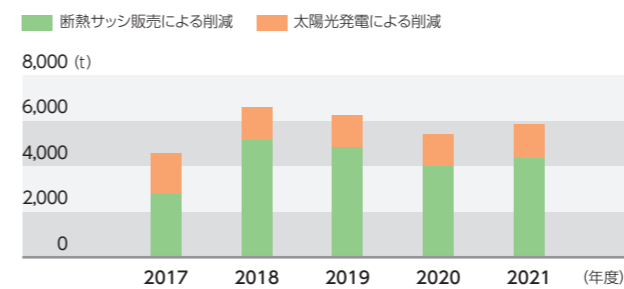
#### Scope1+2 サイト別CO<sub>2</sub>排出量(2021年度)



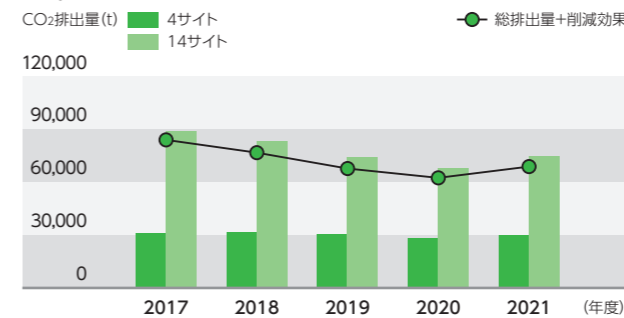
※算定範囲14サイト内訳  
 ●EMS導入4サイト 本社、東京、千葉、関西  
 ●国内生産拠点10サイト  
 不二ライトメタル本社、日海不二サッシ、北誠産業、アジアニッカイ、しらかが不二サッシ、北海道不二サッシ、山口不二サッシ、不二サッシ九州、大牟田アルミ建材、沖縄不二サッシ  
 ※Scope1：都市ガス、重油、LPG、ガソリン、軽油、灯油  
 Scope2：電気、産業用蒸気

また、当社の排出削減貢献には、断熱サッシ商品の販売を通じた冷暖房の使用抑制と、千葉工場および関西不二サッシの建屋屋上を利用したメガソーラー発電があります。このうち、2021年度の断熱サッシ商品販売実績により見込まれるCO<sub>2</sub>削減量は4,407t(前年度比8.8%増)、太陽光発電量(千葉2基・関西1基)のCO<sub>2</sub>削減量換算値は1,466t/年となりました(前年度比5.9%増)。

#### 断熱サッシ販売・太陽光発電によるCO<sub>2</sub>排出量削減効果



#### Scope1+2 CO<sub>2</sub>排出量推移



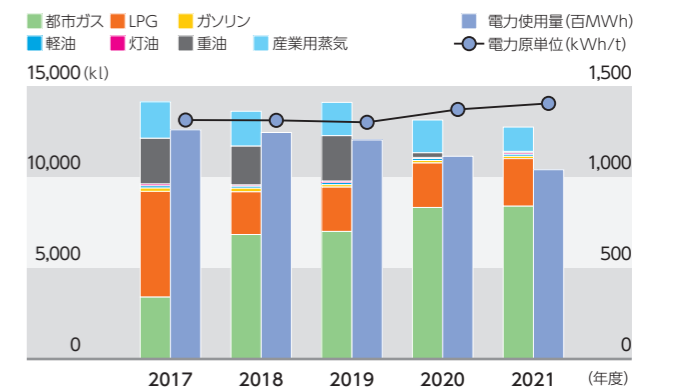
※断熱サッシ販売によるCO<sub>2</sub>削減量は、単板硝子(U=6.494W/m<sup>2</sup>・K)に対して当該商品を使用した場合の効果。NEDO発行「断熱部材のLCCO<sub>2</sub>評価・算定法の標準化調査」成果報告書により算出。  
 ※太陽光発電によるCO<sub>2</sub>削減量は、各拠点の契約電力会社の調整後CO<sub>2</sub>排出係数と、太陽光発電システムCO<sub>2</sub>排出係数(47g/kWhと仮定)を用いて算出。

## 事業活動に伴う主な環境負荷

### [1] 燃料使用量・電力消費量

2021年度の14サイトにおける都市ガスやLPG等の燃料等使用量(原油換算値)は12,784kl(前年度比2.8%減)、電力消費量は104,335MWh(同6.6%減)となりました。また、原単位(押出+電解の生産量当たりの消費電力)改善を目標として生産工程のスリム化を進めていますが、2021年度は電力削減分に比べて生産量の落込みが大きく、14サイトの原単位実績は前年度より2.4%悪化となりました。

### 燃料等使用量(原油換算)・電力使用量



### [2] 化学物質の管理

化学物質の危険有害性、取り扱い上の注意や緊急時の措置等をSDSで把握し、保管・管理を徹底しています。PCBを含むコンデンサ、変圧器、安定器については、法律に従い適正に保管・管理し、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管および処分状況等届出書」により報告しています。

#### 2021年度14サイト分のPRTR対象物質届出状況

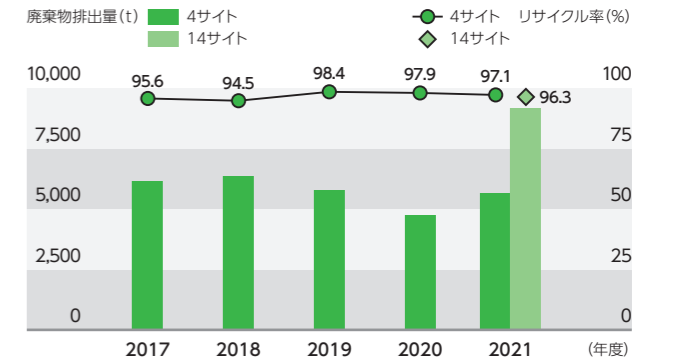
( )内は4サイト分 単位：t/年

番号	309 ニッケル化合物	374 ふっ化水素及びその水溶性塩	405 ほう素化合物	412 マンガン及びその化合物	80 キシレン
取扱量	11.5(6.43)	3.76(3.76)	4.81(3.28)	5.60(1.40)	1.28(-)
排出量	大気	0.07(0.07)	-	-	1.15(-)
	水域	1.63(0.91)	-	3.41(2.32)	-
	土壌	-	-	-	-
使用量	11.5(6.43)	3.76(3.76)	4.81(3.28)	5.60(1.40)	1.28(-)

### [3] 廃棄物排出量の削減と3Rの推進

2021年度の14サイトにおける産業廃棄物排出量は9,154tとなりました。また、再利用・再資源化分が8,820t、リサイクル率は96.3%となり、ゼロエミッション(リサイクル率97%以上)未達となりました。

#### 廃棄物排出量とリサイクル率



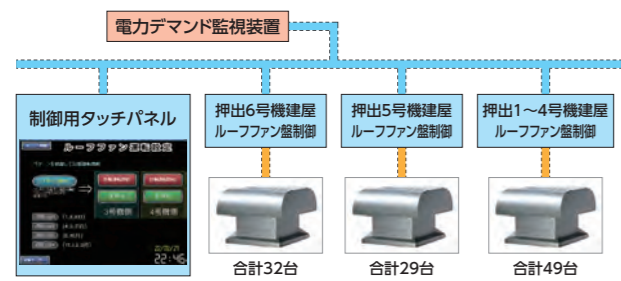
## 温室効果ガス排出量削減に関する取り組み

### 省エネルギー活動

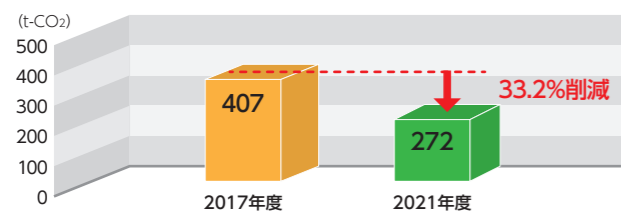
**実績1 押出工場ルーフファン自動運転による省エネ改善**  
 ルーフファンは、作業環境を快適化する産業用強制換気扇ですが、必要のない時も運転している状態が見受けられました。環境面から「減らす、無くす」ことはできませんが、「止める、変える」を基本に改善の判断をしました。

不二ライトメタル本社では熊本県の気象情報をベースに、作業環境を鑑みて季節、時間帯別台数切替運転を提案、シーケンサとタッチパネルで制御プログラムを構築し、人の管理から自動プログラム管理に変更しました。タッチパネルでの運転状態の見える化により、省エネ意識の向上も図りました。また、電力デマンド警報発生時は、本システムの社内LAN経由にてルーフファンを一斉停止します。

西技術Gは省エネ事務局として、日頃より無駄を見つけ、投資対効果を算出するなど、チーム単位で自社改善を進めている職場です。今後も若手技術力向上も兼ね、本件のテーマのように「やり遂げる自社改善」を進めていきます。



CO<sub>2</sub>排出量削減効果(2018年12月~2021年5月)



### 実績2 不二倉業 エコドライブ推進およびモーダルシフトの取り組み

不二サッシグループの物流を担う不二倉業では、事業を通じた環境取り組みとして、主に車輛輸送に関する改善とモーダルシフトを実施しています。

車輛輸送では、自社保有のトラックやフォークリフトの燃費管理と効果検証の仕組みを構築し、燃費向上の中心施策としてエコドライブを推進しています。

ドライバー・オペレーターはエコドライブを評価する自主点検記録を付け、そこで挙げた課題などを管理者と共有して、具体的な改善点を決定し実践するという活動を続けています。その結果、前年度燃費との対比で同じ距離を走行した場合の軽油使用量の差から算出するCO<sub>2</sub>排出量において、過去5年でトラック、フォークリフト合わせて約194tの削減効果が出ています。また、エコドライブだけでなく、ハイブリッド車導入によるCO<sub>2</sub>排出量削減も進めています。

モーダルシフト\*に関しては、輸送の全てをトラックによる陸上輸送で担うのではなく、集配に幹線輸送(鉄道・船舶)を組み合わせる複合輸送をお客様に提案するため、第二種貨物利用運送事業の許可を取得しており、環境負荷低減をアピールポイントとして営業活動を展開しています。

さらに不二倉業では、国内は北海道から九州まで、海外(フィリピン)にも物流拠点・中継拠点を設け、独自の全国物流ネットワークを構築しており、幅広いエリアかつ一貫物流での複合輸送を可能にしています。

#### \* モーダルシフト

トラック等の自動車による貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。1tの貨物を1km運ぶ(=1トンキロ)場合と比較すると、トラックからの輸送方法転換によって、鉄道利用では92%、船舶利用では82%、CO<sub>2</sub>排出量を削減することができると言われております。(国土交通省公表、2019年度値)

### サプライヤーとの協力・グリーン調達活動

当社はサプライヤーを重要なビジネスパートナーと考え、公平公正・共存共栄を基本として相互信頼関係を築き、ともに発展していくことを目指した調達活動を展開しています。EMS構築済のサプライヤー数は横ばい(前年度比0.6%減)であり、引き続き協働して更なる活動の向上を図っていきます。

また、持続可能な消費と生産に向けた活動として、「樹脂部品の材質刻印の推進」と各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進」を継続しています。

加えて、サプライヤーが気候変動対策をはじめとする世

界的な動向についてどのように対応しているかの調査も行っています。調査方法として、SDGs、SBT、RE100、TCFD、サプライチェーン排出量算定についてどのような認識を持ち、また各取り組みをどの程度進めているかのヒアリングを行いました。調査の結果、それらの動向をよく知らないとしていた割合が昨年度より数%改善(減少)し、またサプライチェーン排出量算定中または算定予定の割合も11%増加していました。一方で、それらの取り組みの予定がないという回答数も数%増加しており、個別の事情に合わせた調達活動が必要と考えています。

## 環境マネジメント

### 法規制遵守・緊急事態への備え

環境法規要求事項一覧に基づき遵守事項の点検・管理を行っています。特に監視ポイント毎の現場点検、公害防止管理者の職務改善、環境教育およびコンプライアンス教育に重点を置いた改善活動を行っています。

また、薬品の流出など重大な環境汚染を未然に防ぐため、緊急事態対応手順書等を作成し訓練を行っています。

### 環境教育

環境マネジメントシステムの理解と、CO<sub>2</sub>排出量削減など環境意識の向上を図るため、①全従業員を対象とした一般環境教育 ②専門知識を必要とする従業員に対する専門環境教育を実施しています。また、優遇制度を設け、環境関係の公的資格取得を推進しています。

## 環境会計・マテリアルフロー

14サイト環境保全コスト ( )内は千葉地区のみ

単位:千円

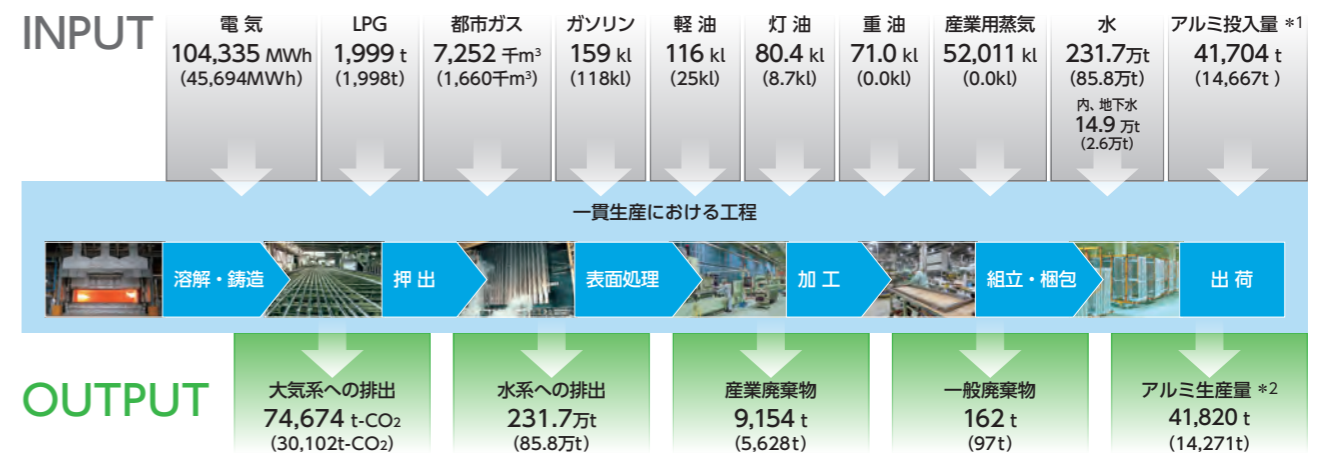
分類	主な取り組み内容	投資額		費用額	
		2020年度	2021年度	2020年度	2021年度
公害防止コスト	燃焼ガス処理施設、排水処理施設、監視施設等	- (57,882)	71,368 (71,339)	- (82,072)	117,057 (84,628)
地球環境保全コスト	照明のLED化、省エネルギー等	- (0)	8,420 (0)	- (26,262)	31,262 (26,539)
資源循環コスト	廃棄物処理等	- (0)	0 (0)	- (56,328)	119,430 (64,322)
管理活動コスト	環境マネジメント、事業所緑地整備等	- (0)	0 (0)	- (45,035)	82,767 (45,998)
社会活動コスト	工場見学、地域清掃活動等	- (0)	0 (0)	- (3,390)	4,081 (3,262)
合計		- (57,882)	79,788 (71,339)	- (213,087)	354,597 (224,748)

### エネルギー使用量内訳

エネルギー	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
				4サイト	14サイト
電気 (MWh)	48,258	46,980	44,243	45,694	104,335
LPG (t)	1,804	1,864	1,867	1,998	1,999
都市ガス (千m <sup>3</sup> )	1,522	1,564	1,366	1,660	7,252
ガソリン (kl)	173	128	110	118	159
軽油 (kl)	25	24	20	25	116
灯油 (kl)	5	7	7	9	80
重油 (kl)	0	0	0	0	71
産業用蒸気 (GJ)	0	0	0	0	52,011
環境負荷総量 (t-CO <sub>2</sub> )	31,454	30,579	28,259	30,102	74,674

14サイトマテリアルフロー ( )内は4サイト

\*1 アルミ投入量(鋳造)には外部購入ピレットを含めない。  
 \*2 アルミ生産量(押出)は外部購入ピレット由来を含む。



# S お客様とともに

## 製品品質・安全への取り組み

不二サッシグループ 品質保証体制

### 基本方針

コンプライアンス経営に基づいた安心、安全で地球環境に優しい商品づくりを通して、グループ全体で顧客満足に徹し、会社業績の貢献に向け邁進する。

不二サッシグループ 製品安全行動指針

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客様に安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう積極的に取り組んでいきます。

WEB 詳細は【トップ>企業情報>製品安全行動指針】

## 2021年度活動実績

### 品質管理活動報告

#### ISO9001・JIS取得状況

不二サッシグループでは、各生産拠点でISO9001およびJISマーク表示制度を取得するとともに、それに則った品質マネジメントシステムを構築し、グループ全体で品質活動の取り組みを強化し、品質レベルの維持向上を図っています。

取得工場一覧 ●：2015年度版への期限内移行完了

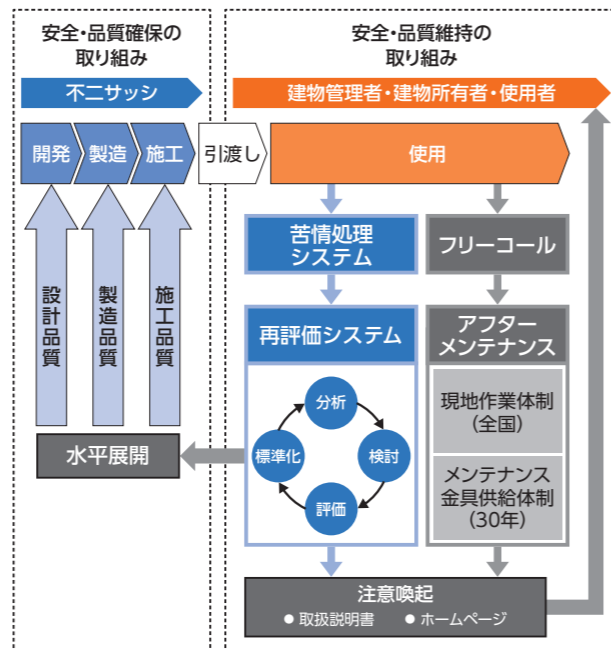
取得者/製造工場	ISO9001	JISマーク表示制度
不二サッシ(株) 千葉工場 技術本部	●	○
不二サッシ(株)	●	-
グループ会社		
北海道不二サッシ(株)	●	○
しらたか不二サッシ(株)	-	○
不二サッシリニューアル(株)	●	○
日海不二サッシ(株)	●	○
関西不二サッシ(株)	●	○
(株)不二サッシ九州	●	○
(株)沖縄不二サッシ	-	○
FUJISASH PHILIPPINES, INC.	-	○
不二ライトメタル(株) 本社	●	○
東資材生産部	●	○

中央規格委員会(5月)、品質管理委員会(四半期)の開催を通じて、品質情報、改善情報を共有し、FSK規格等の品質基準策定につなげました。また、不二サッシ版品質管理マニュアルに基づく、グループ内の品質マネジメントシステム(QMS)を維持しています。

### CS推進活動報告

#### 苦情処理対応

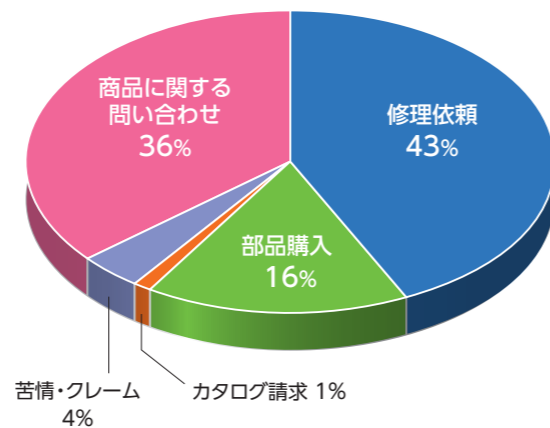
お客様からの苦情・クレームは担当拠点(支店、営業部門)が受け付け、調査、対策を協議し、対応します。苦情・クレーム対応の情報は、苦情処理システムで品質保証部が受け付け、改善が必要な事象については、「再評価システム」で分析、検討、標準化を行ない恒久対策を講じます。これらの情報や対策は、各部門の情報ツールを通じて水平展開し、再発防止につなげています。また、新商品を開発する際の確認項目として用いられています。



#### お客様相談窓口

お客様からのフリーコールによるメンテナンス部品の購入やメンテナンスの依頼などに対しては、お客様の在住エリアを認識し、直接、担当地域の窓口へ迅速につながる転送システムを採用し、お客様満足の向上につなげています。

#### 2021年度「お客様相談窓口」受付内容の内訳



# S 社会とともに

## 不二サッシグループ各社の活動

### 絶滅危惧種「ヒメコマツ」生育固体の保全

#### 不二サッシ千葉工場

千葉工場では、千葉県が最重要保護生物に選定した絶滅危惧種ヒメコマツ\*の保護回復の取り組み「ヒメコマツ系統保存サポーター」に参加し、2020年度からヒメコマツを育成しています。

事務所ビル玄関脇に植えていますが、周囲の生垣と樹高が同程度であることから目立たないため、看板を立てています。今後、世界的に生物多様性の重要性が高まるとされており、従業員への教育を通じて注目度を高めていきたいと考えています。

#### \* ヒメコマツ

ゴウマツとも呼ばれ、寒冷な環境に生育するマツ科の常緑針葉樹で、千葉県のヒメコマツは他県と比べて著しく温暖な地域に生育しています。房総半島の個体群は、最終氷河期の遺存植物として地史的、地理的に非常に重要であり、1970年頃までは数千本も生育していたと言われていました。近年大量に枯死し、現在は約80本にまで減少し絶滅の恐れが高まっています。



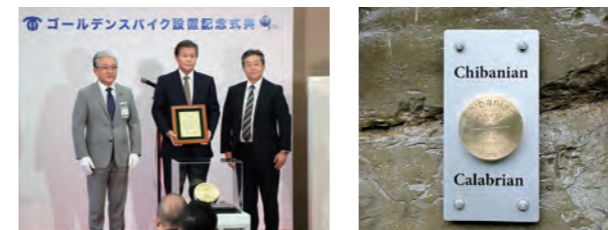
### チバニアン\*の地層に設置するゴールデンスパイク寄贈

#### 不二サッシ千葉工場

千葉工場では、チバニアン\*の地層に設置するゴールデンスパイクを制作し、市原市に寄贈しました。2022年5月21日に千葉県市原市で「ゴールデンスパイク設置記念式典」が行われ、小出市原市長より当社、吉田社長に感謝状が贈呈されました。不二サッシグループは、今後もこのような活動を通じて、「選ばれる企業グループ」を目指していきます。

#### \* チバニアン

地質時代の区分の一つで、中期更新世(約77万4千年前~約12万9千年前)を指します。2020年1月に国際地質科学連合(IUGS)により、千葉県市原市田淵の養老川沿いに露出する約77万年前の地磁気逆転地層を、GSSP(国際標準模式層断面および地点)とすることが正式に認められました。GSSPには、慣例でゴールデンスパイクが設置され、市原市に千葉工場を構える当社が制作し寄贈することになりました。



### 「ごみの減量とリサイクル」ポスター展副賞寄贈

#### 不二サッシ千葉工場

千葉県市原市では毎年3R推進月間の一環として、市内の小中学生を対象に「ごみの減量とリサイクル」をテーマとしたポスターを募集しています。

千葉工場では本企画の趣旨に賛同し、市長賞、教育長賞の副賞として当社製品「アルエア」(LEDデスクライト)と、応募のあった小中学校向けの書籍を寄贈しました。

受賞作品を見ると、近年注目されているキーワードを盛り込んだポスターとなっており、子どもたちの関心を高める一定の効果があることを実感しました。今後も、様々な

ステークホルダーとのパートナーシップを意識して活動を続けていきます。



### 防水板設置の説明会に参加

#### 不二サッシ環境事業部

環境事業部が入居するビルは、ハザードマップによると河川氾濫時に3m(2階床下)の浸水が想定されています。その対策として、1階エントランスや屋外の地下階出入口に防水板を設置しています。

環境事業部員は防災訓練の際に、これらの防水板に実際に水を溜めて稼働確認や効果検証を行い、水の侵入を数滴で食い止めるといった結果が得られた等の説明を受け、洪水被害の抑制策について貴重な知見を得ることができました。本検査には川崎市や消防署が参考にと見学をされています。また、AEDや消火器等の設置位置、取扱いの説明を受け、避難経路の把握の必要性についても再認識できました。

有事に取るべき行動や災害への対策を十分理解し自助、共助を意識した行動をしていきます。



## TOPICS

### 働き方改革

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、従来は限定的に実施していた「在宅勤務」の対象者を拡大しました。また、首都圏を中心に公共交通機関の混雑緩和のための「時差出勤」や、会議室でも執務可能として勤務場所を分散化するなど、「3密」を避ける取り組みを継続して実施しています。各拠点・各会社の事業特性を考慮した上で、仕事環境の整備や仕事の仕方を工夫し、全社一丸となり感染拡大防止に努めると同時に働き方自体を見直しています。

### 新型コロナワクチン「職域接種」

不二サッシは、新型コロナウイルスワクチン職域接種に関する政府方針にもとづき、従業員のワクチン接種機会を増やすべく近隣事業場様と協力し「職域接種」を実施しました。一時、ワクチン供給体制の混乱はありましたが、希望する従業員はもとより、その家族、あるいはお取引先の皆様への2回のワクチン接種ができました。



### しが障害者施設応援企業

社会福祉法人メイプルは、障がい者の就労継続支援を行う事業場として1995年、滋賀県に誕生しました。設立当初から不二サッシ大阪工場（現在は、関西不二サッシ）の技術指導を受け、面格子、ガラリといった建材製品を製造しています。現在、8名の障がいのある方々が不二サッシの社員としてメイプルの従業員と一緒に勤務しています。これからも、不二サッシは、メイプルとともに障がいのある方の活躍を支援していきます。

### 社内インターンシップ制度

2017年に発足した女性活躍推進プロジェクトで提案され、2018年7月より運用開始した「社内インターンシップ制度」を従業員の能力開発やキャリア形成に役立てています。（※全従業員対象）

#### VOICE 廣瀬 文香 コーポレートガバナンス部



最近よく聞くコンプライアンスという言葉ですが、しっかりと内容を把握しておらず、今後営業活動をしていくにあたってもっと深く知る必要があるのではないかと考えた時に、社内インターンシップ制度というも

のがあると知り、コーポレートガバナンス部へ申請をしました。インターンシップ中は、工事下請負契約書や秘密保持契約書のチェックと所見の作成や、不二ニュースの「なぜなぜ!?コンプライアンス」の紙面の作成、下請法に関するセミナーコンテンツの作成等、在籍部署では経験できないことを数多くやらせていただきました。契約書のチェックやセミナーコンテンツを作成する上で、法律の知識がなく行き詰ってしまったときには上司の方々に聞き、学びながら業務をこなすことができました。また、監査役の方々との意見交換会に同席したときには、不二サッシグループ全体の動きなどを知ることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。今後はこの半年間で身につけたスキルと知識を活用し、業務に役立てていこうと思います。

#### VOICE 上野 日向子 関東支店 開発G



2022年1月から3か月間、社内インターンシップを活用し光建材事業部の業務を体験させて頂きました。インターンシップを経験したことで、多くの視点を獲得し他部署との交流が広がった事はもちろんですが、加

えて自身のキャリアや職業観と向き合い、見直す機会になりました。この経験を今後に活かし、性別や年齢関係なく、多くの方が「働きやすい環境づくり」を目指し、まずは自分の周りのコミュニティをさらに良くする事から取り組んでいきたいと考えます。

## 人権の尊重

### 人権に対する基本的な考え方

不二サッシ行動規範の一つ「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」は、全従業員が一致協力して、お互いに尊重し合い、認め合い、持てる能力を最大限に発揮する社風を築いていくことを示しています。不二サッシは、働きがいのある、ハラスメントのない職場環境づくりを目指しています。

また、従業員はその国籍、信条又は社会的身分を理由として差別的取扱を受けることはありません。

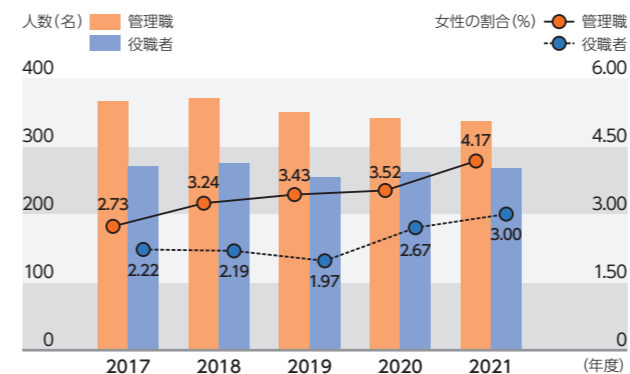
### 女性活躍の推進

#### 女性活躍推進法「一般事業主行動計画」策定

女性従業員の個性と能力が十分に発揮できる働く環境整備を行うため、行動計画を策定し、取り組んでいます。

- 1. 計画期間**  
2021年(令和3年)4月1日から2026年(令和8年)3月31日
- 2. 当社の課題**  
(1)女性の採用数が少ない(特に専門職種)。  
(2)正社員と同等の業務を担っている非正社員の雇用環境改善が進んでいない。
- 3. 計画内容**  
**目標1：採用者に占める女性割合を30%以上とする**  
〈取り組み内容〉  
●求職者に対する積極的な広報(特に、専門職種に対する広報)。  
●育児・介護・配偶者の転勤等を理由に退職した社員に対する再雇用制度の導入・利用促進。  
**目標2：専門職種に占める女性割合を30%以上とする**  
〈取り組み内容〉  
●職域拡大のための情報提供。  
●一般職種を対象とした研修制度の導入。  
**目標3：非正社員の職種・雇用形態の転換を実施する**  
〈取り組み内容〉  
●非正社員の処遇を見直す。  
●非正社員を対象とした職種・雇用転換を促進する。

### 管理職・役職者に占める女性の割合



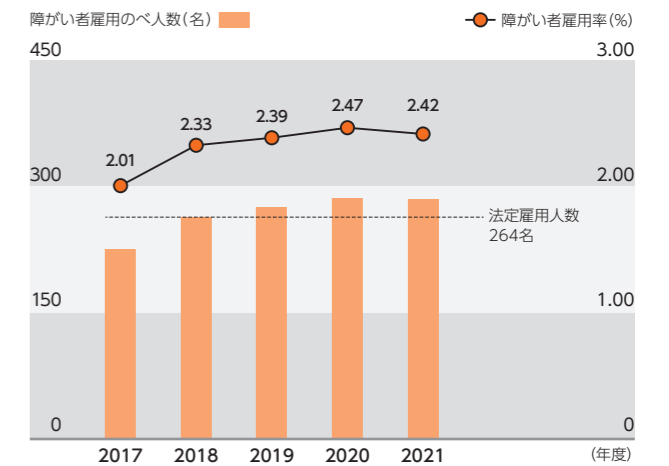
### 障がい者雇用

不二サッシは、社会福祉法人メイプルの運営等を支援し、社会的責務を果たすべく、障がい者の就業機会の確保に努めています。

障がい者雇用は、障がいのある方が障がいのない方とともに一般企業においてごく自然に働けるという「ノーマライゼーション」の理念に基づいています。

不二サッシは、コンプライアンスの観点からも、また、企業の社会的責任を果たすという観点からも障がいのある方の活躍に向け全社を挙げて取り組んでいきます。

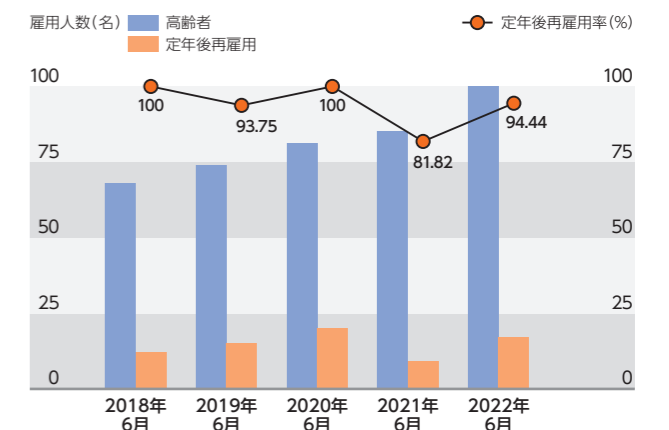
#### 障がい者雇用実績



### 高齢者の再雇用

高齢者雇用は、少子高齢化が急速に進展し、人口減少に伴う労働力不足という中長期的な視点からも重要な課題です。不二サッシは、定年後も継続して勤務できる再雇用制度を導入し、就業機会を確保するとともに、それぞれの経験と知識を活かし活躍する環境を整えています。

#### 高齢者雇用と定年後再雇用の実績



## 人材育成

### 人材に対する基本的な考え方

不二サッシは、企業発展の原動力は優秀な従業員であるとの認識に立ち、次の目的に沿って教育訓練を行います。

- ① 会社の経営理念および経営方針に則り、会社の発展に貢献できるとともに、仕事に生きがいをもった創造的な従業員の育成を図る。
- ② 経営およびそれをとりまく社会情勢や技術革新の進展に伴って要求される能力要件が変化しても、それに対応できるような応変能力のある従業員の育成を図る。

- 教育訓練の種類 ① 階層別集合研修 ② 職場研修 (OJT)  
③ 自己啓発支援研修 ④ 海外語学研修教育

### 教育・キャリア支援

従業員各自の自己啓発意欲を喚起し、それを促進する目的で通信教育の紹介、受講料の援助をしています。また、公的資格取得者には毎月手当を支給することで資格取得促進を図っています。

#### 通信教育受講者数の推移

単位：名

分類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
階層別	47	35	17	26
自己啓発	11	9	5	12
部門長推薦	33	42	30	32
全体	91	86	52	70

新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修開催を控え、新たなスタイルを取り入れた研修を実施しました。その一つが、リモート会議システムを活用した新入社員研修です。研修ではまず動画を視聴し、各個人が課題に取り組みます。その後、グループごとに話し合い、その結果を発表し、それに対して講師がコメントするといった内容です。これを、WEBで実施します。

### 適材適所の人材配置

年1回、従業員自らの考え(業務を行う上での自己評価、職場について感じていること、自らのキャリア形成、能力開発のために今後やってみたい職務等)を自己申告書に記録し、それをもとに職場の上司と話し合います。自己申告書は、従業員の適正配置、能力開発、教育指導等の参考にします。

### 公正公平な人事制度

職能資格制度に基づいて従業員の能力、成果、意欲を公正に評価することが、各人の能力、資質と士気を向上させ、適正な人事上の処遇(異動、配置、昇格、昇給、賞与および教育訓練等)につながります。

### 国際人材の登用

不二サッシフィリピン社(フィリピン共和国)に、「不二サッシ設計センター」を置き、現地従業員を日本国内で設計研修を行い、設計スキルの向上に努めています。また、優秀な現地従業員を、不二サッシに転籍させることで日本国内の事業場において一緒に仕事をする環境を作っています。

また、ベトナム籍の専門技術者を高度外国人材として採用しています。社内における日本語教育も充実させたことで、国内拠点での活躍につなげています。

## 労働安全衛生

### 労働安全衛生に対する基本的な考え方

「安全衛生は全てに優先する。安全衛生なくして生産性、品質の向上無し」という、トップの決意のもと、決めたことは守り、守らせて、不安全状態、不安全行動を完全に排除する職場づくりをすることを安全衛生管理の基本方針としています。

### 従業員の健康増進

不二サッシは不二サッシ健康保険組合と協同で、毎年実施する特定検診(定期健康診断)特定保健指導等により、従業員の健康状況を把握し、疾病の早期発見と予防のための適切な管理を行なっています。

なかでも、日本人の2人に1人が「がん」と言われており、その「がん対策」として早期発見、早期治療のため、希望者を対象に「人間ドック」「乳がん検診」「子宮がん検査」「前立腺検査(PSA)」の受診補助を実施しています。また、健康診断結果をもとに、再受診の勧奨や特定保健指導などのフォローを行っています。

#### 2021年度の受診状況

単位：名

分類	対象者数	受診者数	受診率
前立腺検査(PSA) (45歳、50歳以上)	427	408	95.55%
乳がん検診	234	111	47.44%
子宮がん検査	234	88	37.61%

※ 被扶養者を含む

人間ドック補助利用者	本人 32	家族 4		
被扶養者健康診断	主婦検診 99	事業所検診 16	集合契約 7	計 122

### 安全性優良事業所(Gマーク)継続認定取得

不二サッシグループの物流を担当している不二倉業(株)では、東日本物流センター、西日本物流センターにおいて安全性向上に対する取り組みを評価され、公益社団法人全日本トラック協会より安全性優良事業所(Gマーク)の認定を取得しました。

今後も法令の遵守および安全性に対する取り組みを積極的に行い、お客様に喜ばれる輸送に努めます。



### 令和3年度「優良事業所」として表彰

不二サッシ東北の盛岡営業所は、岩手県警察本部長と岩手県安全運転管理者部会連合会長の連名で「優良事業所」として表彰されました。社員および取引企業の方々の交通ルールやマナー遵守を意識した運転が認められたものと、関係者の皆様に感謝申し上げます。



### 育児に関する人事制度

	妊娠	産前6週	出産	産後8週	1歳	2歳	3歳	小学校就学	小学4年
女性社員		出産休暇	医師等の指示による休暇						
全社員			育児休業(最長2歳まで)						
			育児のための短時間勤務(1日2時間以内)						
			育児のための所定外労働の免除					子の養育の援助(短時間勤務)	
			育児のための深夜勤務の免除(22時~5時)						
			育児のための時間外労働の免除(24時間/月、150時間/年)						
			子の看護休暇(1人の場合5日/年、2人以上の場合10日/年) ※ 時間単位取得可						
			育児時間(1回30分、2回/日)						
			有給休暇の積立制度(最大20日/年)						
			出産手当一時金(健保)						
			出産手当金(健保)						
			出産祝金(会社、厚友会)						
			祝金(ユニオン)						
男性社員			特別休暇(3日)						

交通違反をしないよう安全運転に努め無事故であったとしても、日々道路を利用する以上、交通事故が発生する可能性は、時と場所を選ばずどこにでも潜んでいます。今回の表彰に慢心することなく、このことを肝に銘じて、ハンドルを握る個々が無事故・無違反を続け、地域の模範となるよう努めていきます。

## ワークライフバランス

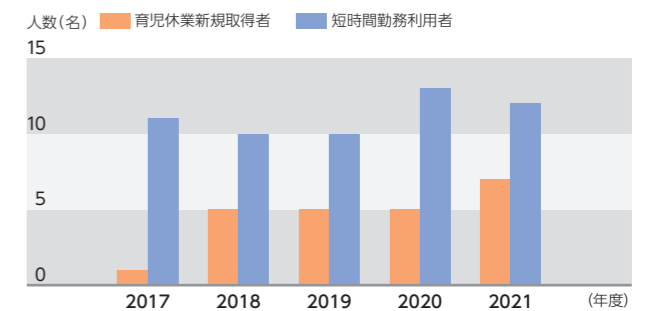
介護支援として、付与された年次有給休暇の全てを半日ずつ使うことが可能です。また、「有給休暇積立制度」として、2年経過で消滅する年次有給休暇を1年間延長することができます。

働き方改革の施策の一つとして、時間を有効活用できる「テレワーク勤務制度」(在宅、サテライト、モバイル)を実施しており、育児・介護のために利用することも可能です。

### 仕事と育児の両立

育児休業期間が終了し、職場復帰後も、小学校第3学年が卒業するまでの間、短時間勤務ができる育児を援助する制度を導入しています。

#### 育児支援制度利用者数の推移



## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方は、当社グループ全体の企業価値の向上と強固な経営基盤の構築を通じて、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、責任ある経営体制の確立と、経営の透明性向上並びに経営に対する監視・監督機能の強化に努めることで、ガバナンスの強化を図っています。

### 改訂コーポレートガバナンス・コードへの取り組み

当社は、改訂コーポレートガバナンス・コードの各原則について取り決め、コーポレートガバナンス報告書において、下記のとおり開示しています。今後、中期経営計画を推進する中で、具体的に実施し、その状況をCSR報告書やホームページ等で開示していきます。なお、これらの諸施策に関して、取締役会が実効的監督を行ってまいります。

#### 【補充原則3-1-3】(サステナビリティについての取り組み)

当社は中期経営計画(2022～2024年度)において、『サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」』をメインメッセージに、脱炭素経営の実践(ESG・SDGsへの貢献と環境関連情報の積極的な開示)と、環境配慮商品の拡販(樹脂、樹脂複合、自然換気商品等)を図っていきます。

また、今後も環境基本方針、行動指針に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)による環境安全活動を進めていきます。脱炭素社会の構築に向けた取り組みを推進するとともに、省資源、リサイクル率向上を目指し、アルミリサイクル材(再生材)の積極利用をはじめ、アルミ化することでの軽量化やアルミの薄肉化、また、リサイクル性を向上させる製品の技術開発など、様々なアプローチで3Rに取り組み、循環型ビジネスの充実を図っていきます。サステナビリティをめぐる当社の取り組みを、重要な経営課題と捉えて継続的に取り組み、「CSR報告書」等において活動実績の報告をホームページにて開示しています。

人的資本や知的財産への投資等については、当社は、社員一人ひとりの成長を支援する「働きがいのある会社」と、多様な人材の多様な働き方を支援する「働きやすい会社」を目指し、社員が能力を発揮できる制度・環境の整備を行っており、その取り組みを「CSR報告書」等においてホームページで開示しています。また、有価証券報告書にセグメントごとの人数や研究開発活動の状況等を開示しています。

今後、当社の経営戦略、経営課題との整合性や事業ポートフォリオを意識しつつ、最適な人的資本や知的財産への投資を行ってまいります。

また、プライム市場上場会社に要請されている、TCFDに基づく開示の充実についても、前向きに検討していきたいと考えています。

#### 【補充原則4-11-1】

##### (取締役会陣容のバランスおよび多様性の確保)

当社の取締役会は、コーポレートガバナンス基本方針第5条に規定する選任基準に基づき、経歴、実績、知識、経験、能力等のバランスを総合的に勘案のうえ、株主総会で選任された、社外取締役1名を含む7名で構成されています。なお、独立社外取締役は、他社での経営経験を有しています。スキル・マトリックスの開示については、役員の選任議案の提案時に、株主総会招集通知に記載することを検討していきます。また、ジェンダーおよび国際性の面における多様性のある取締役の人材の確保に考慮していきます。

### 主な機関の概要

#### 取締役会

当社の取締役会は、経営の監督機能が適切に発揮されるよう、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資する資質を備えた構成としており、2021年度は取締役8名(うち独立社外取締役2名)、監査役3名の計11名で構成していました。

取締役会は、原則として月1回の開催のほか、決算承認等で2021年度は、年間17回の開催を実施し、当社および当社グループの重要な経営方針の決定、業務執行の監督、業務執行状況の報告等を行っています。

なお、社外取締役の鈴江孝裕氏は、2022年5月9日に逝去され、同日をもって取締役を退任しました。当社は、コーポレートガバナンスを強化すべく独立社外取締役を2名選任してきましたが、同氏の逝去による退任のため、現在独立社外取締役は1名となっています。コーポレートガバナンス基本方針に基づき、できるだけ早い時期に独立社外取締役を増員すべく検討を重ねています。

#### 監査役会

当社の監査役会は、現在、常勤監査役1名、社外監査役2名(うち独立役員1名)の計3名で構成しています。監査役会は、会社の内部統制システムや内部監査部門、会計監査人との緊密な連携を活用しつつ、監査役会が定めた監査方針に従って年度の監査計画に基づく監査を実施し、監査役会において、監査の実施状況や結果に関する情報の共有や意見の交換を行っています。また、2021年度は、千葉事業所(不二サッシ(株)千葉工場、不二ライトメタル(株)東資材生産部、カーテンウォール試験センター等)の監査に、社外監査役2名も同行し実態調査を行いました。

### 役員報酬

#### 報酬等の決定に関する方針

当社は、取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しています。取締役および執行役員に報酬に関しては、独立社外取締役が参画する「役員人事・報酬協議会」において以下の方針に則り、個別役員の報酬額の案を協議のうえ策定し、取締役会において決定しています。

#### a. 基本方針

当社の取締役の報酬等の基本方針については、客観性・透明性を確保し、取締役の業績向上へのモチベーションおよびコミットメントを高め、業績目標の実現と企業価値の増大に寄与するために有効に機能する役員報酬制度とし、個々の取締役の報酬の決定に際しては各職責を踏まえた適正な水準とする。

#### b. 報酬構成

当社の取締役の報酬構成については、月例の固定報酬である役位別基本報酬と、業績に応じて変動する業績連動報酬で構成する。社外取締役の報酬は、その役位と独立性の観点から、役位別基本報酬のみで構成する。また、役位別基本報酬については、各役員の実任の規模や大きさに応じて設定する役位ごとの設計とする。

#### c. 業績連動報酬

当社の取締役の業績連動報酬等については、短期業績連動報酬として、半年度の個別当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益を算出基礎とし、役位ごとに定める基準に基づき決定し、当期純利益の増減により、業績報酬分が変動する設計とする。

当社は、より高い経営効率を目指しており、当期純利益を重要な経営指標としているため、このことから当期純利益を業績連動報酬の指標としている。

### 取締役会の実効性評価

当社は、取締役会が有効に機能しているかを検証するため、2021年度において、各取締役による自己評価等を実施し、運営面の確保および審議の内容に関して分析しています。

その結果、審議面に関しては、代表取締役が1名退任いたしましたでしたが、2名の取締役増員に伴い、幅広い意見が出て議論が以前よりも活発となり、各議案の検討および実行、検証等が行われ、経営上重要な事項の意思決定機関としてほぼ適正に機能していると評価できると考えます。しかしながら、コーポレートガバナンス・コードの改訂に伴い、取締役の陣容の多様性等に関しては、今後の課題と認識しています。

また、四半期毎の「意見交換会」において、独立社外取締役の適切な関与・助言を得て、取締役会のさらなる強化につなげています。

#### (社外役員の意見)

会議参加者が周りに遠慮することなく、それぞれがよく意見を出し合い、良い雰囲気での議論が進められています。議論が活発に行われるようになったのは、社長の議事運営(意見を出しやすい雰囲気作り)によるものと評価しています。

#### (社内役員の意見)

経営の重要なポイントはバランス対応と考えますので、コーポレートガバナンス・コード変更等については個社の事情に沿って内容・時間などの配分を適切に対応するべきと考えます。一方、経営には高度な対応能力が求められますので、さらに計画的に人材育成等を継続し、マネジメント能力のアップを図っていくべきと考えています。

### コンプライアンスの推進

#### コンプライアンスセミナー

2021年度も、新型コロナウイルス感染症の影響から、現地での集合研修が難しいと判断し、グループ全社を対象として、動画を利用したコンプライアンスセミナーを開催しました。

#### 主な研修テーマ

全員受講	選択受講	担当部署
コンプライアンス 概論	下請法	コーポレート ガバナンス部
	コーポレート ガバナンス・コード	
	営業活動における与信管理 設備投資に係わる考え方と 会計処理	経理部
	セルフケア・ラインケア (メンタルヘルス)	総務人事部
	適切なSNS利用の心得	情報システム部

受講者からは、動画の利用は時間の制約がなく、何度も視聴できるメリットがあるなど、高い評価を得ることができ、1,799名の役職員が受講しました。今後もコンプライアンス教育の浸透のため、動画や実地を織り交ぜたセミナーを推進していきます。

### ホットライン

当社では、法令違反や社内規定違反を相談する窓口として、内部通報制度である「企業倫理ホットライン」を設けています。社内報に「企業倫理ホットライン」の通報先を掲出するなど社内周知を行い、第三者機関の窓口を利用することで、通報者の保護と適正な処理を行い、問題の早期発見と解決を図っています。また、その運用・通報状況について毎月取締役会で報告を行うとともに、グループ内のイントラネットで開示しています。

## ステークホルダーとのコミュニケーション

### 定時株主総会

2022年度

2022年6月29日川崎日航ホテルで第41期定時株主総会を実施しました。本年もコロナ対策のため、株主様へ議決権の書面およびWEBでの事前行使を促し、来場を控えるようお願いしたところ、株主様のご理解もあり、株主様の当日出席は24名となりました。

#### 本総会の決議事項

1. 剰余金の配当:当社普通株式1株につき1円
2. 定款一部変更の件

各議案とも賛成多数で承認可決しました。



### 共済会との連携

#### 令和3年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」

令和3年10月1日に、令和3年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」が発表され、不二サッシ工事共済会リニューアル支部会員、(有)大沼工業所 田原 智広さんが不二サッシ(株)の推薦により、厳しい審査をクリアして受賞しました。

令和3年度の顕彰式は、前年度に引き続き新型コロナウイルスの国内感染状況および全国的な移動による感染拡大リスクを考慮し、開催はとりやめとなっています。

「優秀施工者国土交通大臣顕彰」(建設マスター)とは、国土交通省にて、建設産業の第一線で「ものづくり」に携わる方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、その社会的評価の向上を図ることを目的として、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成などに多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として平成4年度より毎年選出して、新たな建設マスターを誕生させています。令和3年度は全国で483名が選出されました。



### 製作協力会との連携

当社において自社商品以外の商品調達を占める割合は非常に高く、その中から生み出す収益は経営にも直結します。また要求される納期・満足される商品の提供をしていく中で常に「高品質で低コスト」の商品を調達し続ける強い意識を持ち、製品知識・工程管理・原価構成・市場動向などの知識を高め、調達業務を遂行しなければいけません。そのために数多くあるサプライヤーから40社と東京・関東・横浜の3支店が合同となり「不二サッシ関東地区協力会」を結成しています。主な活動内容としましては勉強会(仕様の統一・合理化・省力化など)、年に一度の他業種工場見学と、物作りをテーマに活動を行っています。しかし昨今の新型コロナ感染により、活動を余儀なく中止・縮小となっていますが、より信頼・絆を深めお互いの技術・知恵を集結し、より良い商品の提供を行っていきます。

### 2021年日本産業広告賞入賞

日刊工業新聞社が主催する「2021年日本産業広告賞」において、不二サッシの広告が下記の3部門で入賞しました。

「日本産業広告賞」は、1966年にスタートした日本の代表的な産業広告賞で今回で56回目となります。

2021年11月24日には、2年ぶりに港区虎ノ門の「The Okura Tokyo」にて表彰式が開催されました。



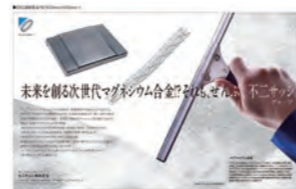
新聞部門  
第3部 第2席



新聞部門  
モノクローム広告賞 佳作



新聞部門 シリーズ第2部 第2席



### 第三者意見

戸村 智恵 様 日本マネジメント総合研究所同会社 理事長



元・国連の専門官として、国連戦略立案業務専門官リーダー、内部監査業務、SDGs・ESG関連の実践指導・普及啓発などを担当。国連退官後、岡山大学大学院非常勤講師、経営行動科学学会理事、上場IT企業のアドバイザー、コーポレート・ガバナンス・アワード大賞選考委員長などを歴任。

元・国連の専門官としてSDGs・ESG関連の普及啓発にあたり、上場各社の取締役・監査役などを指導する立場にあり、官公庁関連の有識者・監査専門委員などを担当してきた当職が、不二サッシ株式会社のCSR全般に関する独立的・客観的な観点から第三者意見をご提供いたします。

なお、当該意見は、COVID-19の渦中につき感染症対策を最優先し、フルオンライン対応で把握し得る範囲で取りまとめられており、隠れた問題や今後の問題などが無いことなどを保証するものではありません。

### 激化する国際情勢・有事における継続

環境、エネルギー、物流など、2022年に激化した有事の社会環境においては、実務的には、環境負荷低減などを中心とする数値・指標の増減は各社やむを得ず生じる面があります。

そのような中でも、継続して社会的に良き取り組みを進めていく上で、過去の状況も勘案し、全体的に、改善基調、抜本的取り組みへの着手などの点で、同社の取り組みは高く評価され得るものと思料されます。

第三者意見の提供に際し、毎年のように特筆すべき抜本的な取り組みへの着手が見受けられます。

本年度では、単なる数値の増減を追うだけではなく、SBT認定取得への着手や、ホワイト物流、Scope3への展開、ゼロエミッション推進や、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進や、サプライチェーン・物流を含めた同社が関わるビジネス全体での環境負荷低減・SDGs・ESG推進などが、総合的に見て良好であると見受けられます。

### 大きな取り組みと身近な取り組み

当職が各社のCSR・SDGs・ESG推進の状況を見据える上で、単なるIR上の安直なアピール的な対応か、着実に全社で根づく対応かを見分ける上で、大がかりな取り組みだけでなく、身近な職場や事業体レベルでの取り組みの有無にも注目しています。

その点で、当社では、大きな取り組みとしてのアルミリサイクル材の活用による年間約200ktのCO<sub>2</sub>削減や、メガソーラー運用やモーダルシフトだけでなく、地に足のついた身近に地道な取り組みとして、エコドライブ評価において、軽油使用量の差から算出されるCO<sub>2</sub>排出量で約194tの削減効果などについての取り組みは、非常に好感が持てる点であると見えています。

単にエコドライブによる環境負荷低減だけでなく、当然に、国際的に高騰が続く中での燃料費削減にもつながり、SDGsの

理念にも沿って、同社が社会にとって良き行いを利益にもつながら実践し、社会も企業もともに栄える対応を着実に実践していることの証左であると見受けられます。

また、同社でのルーフファン自動運転による省エネ改善も同様に、気候変動への大きな対策に際し、日々の気象変動に沿った身近な無駄削減や省エネに、DX、自動化などの観点から無理なく自然と取り組めるようにしていることも、非常に望ましい状況と考えられます。

当職がよく述べる「サステナブル=ムリなく・ムダなく・長続きする・理にかなった・お互いに幸せになりあう取り組みをしている状況」に即し、企業全体でも職場レベルでも、着実に社会的に良き取り組みを進められています。

ESGのSとGに関しては、これまでの取り組みを継続・強化しながら、全体的に改善基調で取り組まれ、管理職・役職者における女性比率も向上し、障がい者雇用もノーマライゼーションに沿って進められ、労働安全においても優良事業所表彰を受けるなど、全体的に良好であると見受けられます。

ガバナンス面で社外取締役の方のご逝去により、一時的に社外取締役の人員減少が生じるなどの点は、やむを得ない状況によるものでもあり、改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応やコンプライアンス対応において、特段に問題視されるべきものは見受けられませんでした。

### さらなる取り組みへの期待

2022年9月に経産省が公表したガイドラインによる、人権デューデリジェンスに関連した対応は、今後の同社の取り組みに期待が寄せられるところでしょう。

また、同社全体で役員層から一般職・非常勤職に至るまで、LGBTQ、SOGIなどの面での配慮、対応がより一層推進され、難局を乗り切る上でも大切な多様性の尊重と受け入れあい、ハラスメント対策などが、これまでより明示的に情報として表されるよう進められることが期待されます。

### 第三者意見を受けて

不二サッシ株式会社 執行役員 総合企画部長 町田 仁

戸村様には例年どおり、当社CSR報告書2022の発行にあたりSDGs・ESG関連の専門的立場から貴重なご意見、ご評価をいただき御礼申し上げます。

今年度からスタートした中期経営計画(2022~2024年度)ではメインメッセージを『サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」』とし、SDGsを経営戦略の重要事項と捉え、社会情勢や事業環境を踏まえ重要課題を設定し、そ

れらの達成により、社会課題の解決と経営戦略の共通価値の創造を目指します。

ご期待いただきました人権デューデリジェンスに関連した対応やLGBTQ・SOGIなどの面での配慮、対応につきましても新たな課題の一つとして取り組んでゆく所存です。

戸村様には引き続きご指導賜りますよう、よろしく願い申し上げます。





**不二サッシ**

<https://www.fujisash.co.jp/>

## 不二サッシ株式会社

本 社 〒 212-0058  
神奈川県川崎市幸区鹿島田 1 丁目 1 番 2 号 新川崎三井ビルディング  
TEL 044-520-0034

東京本部 〒 141-0031  
東京都品川区西五反田 4 丁目 32 番 1 号  
TEL 03-6867-0770

内容に関するお問い合わせ先 .....

総合企画部 TEL:03-6867-0777 E-mail:customer@fujisash.net

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。